西オーストラリア発
JA NEWS
The Japan Australia News

KYODO NEWS INTERNATIONAL 特約 FREE

1996年７月創刊　月刊
Vol.16　No.187
www.janews.com.au
Tel: 1300 551 246　Fax: (08) 9207 2523

2 2012

Perth International Arts Festival
2012年２月10日（金）～３月３日（土）

60回目を迎えるパース国際芸術祭。今回も市内の至る所で世界中から集まった芸術作品が披露される。家族で楽しめるこれら４つの無料イベントも見逃せない。

① Dawn:Dusk
２月10日（金）7:00am ～ 7:45am
朝日に輝くコテスロービーチでのオープニングイベント。西オーストラリアならではのロケーションで数百人のボーカリストやミュージシャンが、世界中からフィスティバルに集まった人々を歓迎する。

② Place des Anges
２月11日（土）8:00pm ～ 9:00pm
会 場：St Georges Terrace between Council House and St George's Cathedral
空中を天使が舞い、おびただしい数の白い羽根が舞う幻想の世界。フランスからやって来るスペクタクルなアートパフォーマンスは一生に一度の体験となるに違いない。

③ RedBall Project
２月10日（金）～３月３日（土）
思わぬところに巨大な赤いボールが出現。カメラに収めても、触っても、飛び込んでも大丈夫。この体感アートは15カ所に置かれるが、それがどこかはお楽しみ。ニューヨークのアーチスト、カート・パースチック氏の作品。

④ Home Sweet Home
２月24日（金）～３月３日（土）
会場：WA Museum, Perth
鑑賞する側も参加してしまうアート作品。クリエイティブな感覚で活気のあるパースの街を作り上げてみては。ボール紙を使って夢の家やナイトクラブ、サーフショップ、思い浮かぶものは何でも。

www.perthfestival.com.au

© Chris Jones

© Kurt Perschke

© BOZIO

IN JAPAN
Red-hot topics from JAPAN
P12,13&14

Kuniyoshi Utagawa 歌川国芳

連載 ふしぎな動物「オオコウモリ」
P 11

2月のSALE
（2月1日～29日）

はくばく
麦芽むぎ茶
5P×2
通常価格 $4.80
$3.80

イチビキ
小麦を使わない丸大豆しょうゆ
500ml
通常価格 $7.40
$5.80

ハウス
麻婆豆腐の素
（甘口・中辛・辛口）
150g
通常価格 $4.80
各$3.80

カンロ
焙煎黒糖飴 120g
通常価格 $3.90
$2.60

白菊
マヨネーズ 1Kg
通常価格 $10.50
$7.40

白菊
ラムネ 200ml
通常価格 $2.80
$2.20

タナカ
本みりん 1L
通常価格 $4.80
$3.80

よしかわ
串だんご３種
（しょうゆ・こしあん・ごま）3P
通常価格 $4.90
各$3.30

ヤマサ
ざるそば専科 330ml
通常価格 $5.90
$4.50

☆今月の商品紹介☆

たらみ
くだもの屋さんゼリー
（みかん、ぶどう、パイン、マンゴー）
160g
各$2.70

グリコ
PRETZ
（サラダ、スーパーバター）
73g/57g
各$2.90
サラダ：あっさり塩味！
スーパーバター：はじめ塩味、あとから濃厚バター！

井村屋
レモンスカッシュバー
7P
$8.10
ポッカレモン使用のザクザク氷入り。

マルサン
酢みそ 120g
$2.30
京風白みそ仕立て。野菜や魚介類のあえものにどうぞ。

ヤマサ
昆布ぽん酢ジュレ 195g
$5.40
キラキラぷるぷるのデコ盛りメニューが楽しめます。

いつものお料理にかけるだけで
華やかメニューに大変身！

ヤマサ 昆布ぽん酢ジュレ

料理例

料理例

NIPPON FOOD SUPPLIES
日本フード

SUBIACO店
Tel: (08) 9380-6783
Fax: (08) 9388-0334
Shop 26, 180 Rokeby Rd, Subiaco WA 6008
クレジットカードもご利用いただけます
（VISA、MasterCard）
月～金:10am～6pm／土:9am～5pm
日:11am～5pm／祝日休業

OFFICE
Tel: (08) 9445-9247
Fax: (08) 9204-2714
Unit 7, 97 Hector St, Osborne Park WA 6017
PO Box 1824 Osborne Park WA 6986

「ブログ」やってます！
http://nipponfood.blog.fc2.com/
配送部員を募集しております。
詳しくは、小林まで（0409 292 246）

池本さん 64 歳
自転車で豪州大陸横断に挑戦中

大阪府在住の池本元光（いけもと・もとみつ）さんが、自身のアイデアによる帆かけ自転車で 1 月 14 日にアデレードを出発し、ナラボー平原を含む 2500 キロ横断の旅に挑戦中だ。

池本さんは、1968 年から 4 年 4 カ月をかけて世界 5 大陸 47 カ国を走破し、日本人初となる自転車世界一周を成し遂げ、その後もキリマンジャロ自転車登頂など 5 万 3000 キロを走破している自転車冒険家。現在は関西サイクルスポーツセンターに勤務する傍ら、日本アドベンチャー・サイクリストクラブの代表を務める。

現在 64 歳の池本さんは最後の挑戦として自転車によるオーストラリア横断を計画したが、その矢先に東日本大震災が発生。「こんな時に冒険をしていいのか」といったんは悩んだが、オーストラリアから多くの支援が寄せられたと知り「このプロジェクトで感謝の気持ちを伝え、被災地にはオーストラリアからのメッセージを紹介しよう」と実施を決めたという。

ハンドルの前に据え付けられたセールのような三角形の帆には「Thank you for supporting Japan」の文字が描かれている。池本さんは追い風を受けながらこのメッセージをオーストラリアに伝えながら走行を続けている。

パースへは 2 月中旬から下旬にかけての到着を予定。パートナーとして伴走する中西大輔（なかにし・だいすけ）さんがブログで走行の様子を随時アップしており、近況を知りたい方はこちらで確認できる。コメントも書き込めるようになっているので応援のメッセージを届けてみては。

http://blog.daisukebike.be

写真提供：関西サイクルスポーツセンター

日本主導で大型ＬＮＧ事業
豪州沖、年産 840 万トン　電力需要増に対応

【ダーウィン、東京 1 月 13 日共同】

日本政府出資の国際石油開発帝石（INPEX）は 13 日、オーストラリア北西部沖でフランス石油大手トタルと計画する液化天然ガス（LNG）田「イクシスガス田」開発への投資を決定し最終合意したと発表した。年間約 840 万トンの LNG 生産を見込んでおり、日本には国内需要の 1 割近くの 600 万トン弱が供給される見通し。2016 年末までの生産開始を目指す。

日本企業が主導する初の大規模 LNG 事業で、「日の丸ガス田」開発が本格始動する。東京電力福島第 1 原発事故を受けて LNG 需要が高まる中、安定供給に向け重要な役割が期待されそうだ。

総投資額は 340 億ドル（約 2 兆 6 千億円）。国際帝石の黒田直樹会長ら両社幹部が同日、LNG 工場の建設予定地である北部ダーウィンで署名した。黒田会長は「イクシス事業はきょう、新たな段階を迎えた」と強調。同席した松下忠洋経済産業副大臣は、福島の原発事故後に LNG の比重を増やすことを検討していることから「日本として（事業に）期待している」と話した。

イクシスガス田は現在、国際帝石が 76%、トタルが 24% の権益を保有している。既に国内外の企業と売買契約を結び、生産全量の供給先を確保し、このうち約 7 割が日本向けとなる予定。東電や大阪ガス、中部電力、九州電力など国内の電力・ガス会社計 7 社に供給する。

ガス田開発は国際石油資本（メジャー）や生産国政府が事業を主導することが多く、日本企業はこれまで事業に参画する立場がほとんどだった。

オーストラリアン・オブ・ザ・イヤー
俳優のジェフリー・ラッシュ氏らに

オーストラリア・デーに合わせて表彰される国民栄誉賞、オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーの受賞者が 1 月 25 日に発表された。

2012 年のオーストラリアン・オブ・ザ・イヤーには、俳優のジェフリー・ラッシュ氏(60)が選ばれた。俳優歴 40 年のラッシュ氏は、1996 年に映画「シャイン」でピアニストのデイヴィッド・ヘルフゴット役を演じ、アカデミー主演男優賞を受賞。その後数多くの映画と舞台で活躍し、アカデミー賞にエミー賞とトニー賞を加えた三冠を手にした。また若手の育成にも力を入れ、地元コミュニティーからオーストラリア、海外の演劇界の発展に大きく寄与している。

またヤング・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーには、もっと多くの女性が工学系分野の職業に就くことを提唱し、ロボギャルズ・グローバルを設立して女子中高生を対象にワークショップを開いてきたメルボルン大学生のマリタ・チェンさん（22）が受賞した。

シニア・オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーには、90 歳を超えた現在もノーザンテリトリーのアーネムランドで祖先から受け継いだ文化と自然を守り続けるローリー・バイマーワンガさんが選ばれた。

今年のローカルヒーロー賞は、ニューサウスウェールズ州の自宅を開放し、15 年にわたり里親として 200 人以上の子供たちを育ててきたリン・ソイヤーズさん（68）が受賞した。

同日夕刻、キャンベラの国会議事堂前で行われた授与式では、ジュリア・ギラード首相が受賞者らの栄誉をたたえ、トロフィーを手渡した。

オーストラリアン・オブ・ザ・イヤーは、さまざまな分野で国民の模範となるような活動を通じて地域や国家に大きく貢献した者を表彰するもので、今回の受賞者 4 人は全豪 5000 人以上の候補者から選ばれた。

© Stefan Postles

© Stefan Postles

© Stefan Postles

© Stefan Postles

豪首相、日本側に謝意
監視船乗船の 3 人を批判

【シドニー 1 月 10 日共同】

オーストラリアのギラード首相は 10 日、日本の調査捕鯨船団の監視船に乗り込んだオーストラリア人 3 人について、日本政府が立件せずに引き渡すことを決めたのを受け、日本側に謝意を示した。

ギラード氏は広報担当者を通じ「3 人の行為は許されるものではない」と批判。オーストラリア政府は調査捕鯨廃止を求め国際司法裁判所に日本を提訴していることから「捕鯨をやめさせるには法的措置が最適な方法だ」とし、同様の危険な抗議行動を自制するよう促した。

オーストラリア政府は 3 人の引き渡しを受けるための船を派遣。天候の状況にもよるが、3 人の乗った監視船「第 2 昭南丸」にたどり着くまで数日ほどかかる見通し。

TPPで日米会合 月末にも協議団派遣 豪、マレーシアも

【1月12日共同】

政府は12日、環太平洋連携協定（TPP）交渉参加に向け、1月末にも米国と事前協議を始める方向で調整に入った。外務省など関係府省の幹部らで構成する協議団をワシントンに派遣し、農業や自動車、郵政問題を議論。交渉参加へ本格的に動きだす。

野田佳彦首相は昨年11月に交渉参加方針を打ち出したが、既に交渉に参加している9カ国の同意が必要で、米国との協議が鍵を握る。政府は早ければ5月の参加を想定するが、米国との協議の進展状況、国内のTPP反対論や消費税増税も絡んだ政局次第では交渉入りが遅れる可能性がある。

また藤村修官房長官は12日の記者会見で、オーストラリア、マレーシア、シンガポールなど米国以外の参加国にも事前協議のために協議団を派遣する方針を表明。2月から順次派遣する方向で調整しており、今月16日にも関係府省の副大臣らが出席する幹事会を開き、協議方針を確認する。

米国は日本の交渉参加に関する米国民への意見公募を今月13日に締め切る。それを踏まえ、事前協議では関税を全廃する原則を日本が受け入れるかどうかを確認。農業改革に向けた日本の姿勢も確かめるとみられる。日本側は、農地の大規模化などを柱に昨年秋にまとめた農業再生の基本方針を説明し、理解を求める。

自動車の市場開放や郵政改革、牛肉の輸入規制緩和も取り上げられる見通し。交渉入りの条件として、これらの課題を両国で協議する枠組みを新設する案も出ている。

米国では自動車業界が日本のTPP参加に反対しており、米国内の意見調整に手間取れば日米協議が2月にずれ込む可能性もある。

さらに米国では、日本の交渉参加に議会や産業界から了承を取り付けた上で、交渉入りの90日前に議会に通知する手続きが必要。TPP交渉は2012年内の妥結を目指して進んでおり、交渉参加が遅れれば、日本の主張が反映されにくくなる事態が予想される。

豪、対ミャンマー制裁緩和 武器禁輸は継続

【シドニー1月9日共同】

オーストラリア政府は9日、一部政治犯の釈放などミャンマー政府が進める民主改革を受け、制裁の対象者を減らす方針を発表した。

金融制裁や渡航制限などの対象者から、観光関連の当局者や既に政界から引退した閣僚経験者らを除外する方針。武器の禁輸措置は今後も継続する。

米国や欧州連合（EU）が一層の改革を求め、当面は制裁を維持する立場を示していることから、制裁緩和は時期尚早との声が一部人権団体などから上がっている。

オーストラリアのラッド外相は声明で「より開かれた民主主義に向けて重要な前進が見られた」と緩和の理由を述べた一方、「今後も全政治犯の釈放や自由で公正な選挙の実施などを要求し続ける」とくぎを刺した。

入江、初戦で昨季記録超え 男子200メートル背泳ぎ

【1月19日共同】

競泳男子背泳ぎのエース、入江陵介（イトマンSS）は19日、オーストラリアのパース近郊で行われた大会に出場し、200メートル背泳ぎで昨年の自己最高を上回る1分54秒02の好タイムで優勝した。この大会がことし初戦。

入江は昨年4月の世界選手権代表選考会でシーズン自己最高の1分54秒08で泳ぎ、7月の世界選手権では1分54秒11で銀メダルを獲得した。道浦健寿コーチによると、今大会は練習の疲労が残った状態で臨んだ。

豪トヨタ、350人削減へ 通貨高や輸出減で

【シドニー1月23日共同】

トヨタ自動車のオーストラリア現地法人は23日、同国南東部ビクトリア州のアルトナ工場で約350人を解雇する方針だと発表した。豪ドル高や輸出需要の落ち込みなど「市場を取り巻く状況を考慮した結果、現在の規模の雇用を維持するのは不可能」と判断した。

同社によると、オーストラリア国内の従業員は4683人（2010年）。生産台数は07年の14万9千台から11年の9万4千台へ4年間で約37％減少。12年も9万5千台程度にとどまる見通しで「（生産の落ち込みは）一時的とみていたが、恒常化している」としている。

バンジーでロープ切れ落下 ワニ生息の川、女性生還

【1月1日共同】

アフリカ南部のジンバブエとザンビア国境のザンベジ川で先月31日、西豪州パースに住むオーストラリア人女性エリン・ラングワーシーさん（22）が高さ110メートルの橋からバンジージャンプをしたところ、ロープが切れて川に落ちたが一命を取り留めた。

川にはワニが生息しているといい、女性は両足をロープで縛られたまま自力でジンバブエ側の川岸まで泳ぎ着いた。水面で全身を打ち、鎖骨を折るなどしたが命に別条はないという。

女性はオーストラリアのテレビ局に「死ななかったのは奇跡だ」と話している。

現場は世界三大滝に数えられるビクトリアの滝に近く、日本人にも人気の観光地という。

観客後押し、劇的勝利 元世界1位のヒューイット

【1月18日共同】

17日に行われたテニスの全豪オープン男子シングルス1回戦で、地元オーストラリアのレイトン・ヒューイットが初戦を突破した。現行の男子世界ランキング制度で20歳8カ月の最年少世界1位の記録を持つが、今や30歳のベテランは181位。劇的な勝利に「多くの観客が後押ししてくれた」と歓喜に酔いしれた。

帽子のつばを後ろに向けてかぶるスタイルは「新悪童」と呼ばれた頃から変わらない。ショットを決めると、おなじみの「カモン！」も連発。2セットを難なく連取したが、第3セットを落とすと、第4セットも1―5と苦しくなった。

それでもスター選手は諦めなかった。驚異的な粘りを見せ、6ゲームを連取。ポイントを重ねるたびに歓声が大きくなり、センターコートで4時間近い熱戦を制すと大の字に倒れ込んだ。

2001年に全米オープン、02年にウィンブルドンで頂点に立ったが、スランプやけがにも悩まされてきた。今回は主催者推薦で出場したが「10年前と気持ちは変わらない」と強気だ。2回戦の相手は同世代のライバルで、元世界1位のアンディ・ロディック（米国）。「何が起こるか見ていてよ」と待ち遠しそうだった。

米豪空軍と初の共同訓練 空自、中国軍を意識か

【シドニー1月20日共同】

航空自衛隊は20日、2月にグアムで米空軍、オーストラリア空軍の3者で初めての共同訓練を行うと発表した。空中戦、防空、電子戦など本格的な内容で、アジア太平洋で台頭する中国軍の動きを意識したものになりそうだ。

2月11日から24日にかけ、グアムのアンダーセン空軍基地や周辺の空域、空対地射爆場で訓練。空自は330人態勢でF2戦闘機8機、F15戦闘機6機、E2C早期警戒機3機が参加する。

岩崎茂航空幕僚長は20日の記者会見で「太平洋の環境を考えると、オーストラリアとの連携強化は大切だ」と述べた。

政府が2010年末に決定した「防衛計画の大綱」では、韓国やオーストラリアとの安全保障協力の強化を明記。昨年7月には、空自がオーストラリア空軍と初の共同訓練をした。陸自が今月下旬から伊丹駐屯地（兵庫県伊丹市）などで米陸軍と行う共同指揮所演習にも、オーストラリア陸軍が初めてオブザーバー参加する。

「一歩前進」「誰のため」歓迎半面、猛反発も

【1月23日共同】

「ようやく一歩前進」「子どものことを本当に考えているのか」。破綻した国際カップルにとって、深刻なテーマとなる子どもの引き渡し問題。ハーグ条約に加盟すれば、子どもをめぐる争いは大きく変わるため、当事者の声は歓迎と反対に分かれている。

「自力で解決したいと頑張っているが、限界があり、国の後押しが必要。一歩前進です」と話すのは、外国人の夫と別れた30代の女性。

元夫が子どもを連れ母国に帰国したが、日本が条約未加盟のため、相手国は子どもを元の居住地に返還させることができず、一刻も早い加盟を期待している。

一方、子どもと暮らす母親からは猛反発も。「取り戻したい親の立場しか考えていない条約だ」。オーストラリアでの国際結婚が破綻、娘を日本に連れ帰ったという40代の女性。オーストラリアから誘拐容疑で逮捕状まで出ているといい、条約加盟に納得がいかない。

条約締結前の事例でもさかのぼって適用するよう求める国もあり、日本政府の対応次第では子どもの返還が求められる恐れも。「娘は日本語しか話せないし、連れ戻されたら生きていけない」と怒りと不安にかられている。

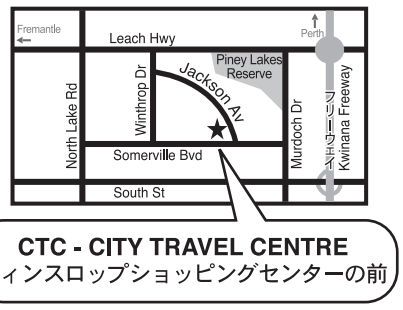
スペシャル航空券随時発売中！！
www.ctcperth.com.au

★ 日本行き格安航空券
★ 日本呼び寄せ航空券
★ ジャパン・エアーパス＆ ジャパン・レールパス 取扱店

＊土・日・祝　緊急の場合、航空券発券の対応致します。

まずはお電話またはE-Mailでお問い合わせください。
All sales product:
Conditions Apply & Subject to Availability

旅行業界実績16年のCTCにお任せ下さい。
CTC-CITY TRAVEL CENTRE
Licence No. 9TA898
Suite 12, Winthrop Court
143 Somerville Boulevard Winthrop WA 6150
電話番号 (08) 9312-1212
E-Mail info@ctcperth.com.au
営業時間：月～金曜日
10:00 ～ 17:00 (土・日・祝 休業)



Japanese School in Perth
日本の教育 未来形
パース日本人学校（小学部・中学部）
～ 確かな学力 算数・数学 ぐんぐん英語　しっかり国語 ～

★2012年度入学希望者募集について
2012年度新入学希望者、第２期募集および面接を行います。募集期間は2/1~2/17、面接期間は2/20~2/23です。本校に入学を希望される場合には必ず受けていただくことになりますので、本校HPで詳細をご確認の上、申込書をダウンロードして、メールかファックスにてお申し込みください。

★2012年４月から、フルタイムで働ける教員を募集します。
2012年度スタート時（日本人学校の新年度は４月スタート）より、フルタイム勤務ができる教員を募集します。
①「日本の教員免許状」が必要です。小学校及び中学校英語の教員免許をお持ちの方を広く募集します。日本国内で指導の経験がある方を優遇します。
②西オーストラリア州で就労可能なVISA（永住権等）を取得している方。ワーキングホリデーの方は不可です。
③給与、条件等は面接・試験の上、決定いたします。希望等あれば事前にお知らせください。
興味のある方は下記までご連絡ください。（担当：木村）

住所：20 Kalinda Drive City Beach WA 6015
電話：9285－1758 Fax：9285－1787
E-mail：info@japaneseschool.wa.edu.au
Website：http://www.japaneseschool.wa.edu.au

CHATTERBOX
話そう会
英語と日本語によるお話の会
豪州人と日本人との交流の場を提供します。
毎週土曜日　午後２時から４時
会　場：兵庫文化交流センター
（西豪州の姉妹州兵庫県がパースに開設している文化センター、日本人学校と同じ建物）
参加費：$2
20 KALINDA DRIVE CITY BEACH
（シティーからは84番のバスに乗り No.26280 で下車）
注：時間帯により上記バス停には停車しません。
Wellington Bus Station 1:30pm 発をご利用ください。
どなたでもお気軽にご参加ください。
TEL: 08-9385-9002

イラン原油禁輸を決定
EU、7月完全実施
米と足並み、核協議要求 日本、早急対応も

【ブリュッセル1月23日共同】欧州連合（EU）は23日、ブリュッセルで外相理事会を開き、核開発疑惑が強まるイランに対する制裁強化措置として、同国産原油の輸入を既存の契約分を含めて7月1日から完全に禁止することを正式決定した。新規輸入は即時禁止となる。

昨年末にイラン原油制裁法を成立させた米国に同調するもので、イランに対する圧力は一層強まった。米欧が足並みをそろえたことで、イラン原油の大口輸入国である日本も大幅な輸入削減へ早急な対応を迫られそうだ。

EUはイランに対して、欧米など6カ国との核協議に応じるようあらためて要求。制裁をてこに外交交渉に引き込み、核兵器開発断念を迫る構えだが、イランの反発は必至だ。

イランは原油輸出への制裁に対して、輸送の大動脈であるホルムズ海峡を封鎖すると警告、緊迫した状態が続いている。米海軍は、空母エーブラハム・リンカーンが22日、同海峡を通過し、ペルシャ湾に入ったことを明らかにした。

中国に次ぐイラン原油の第2の輸出先であるEUの禁輸実施はイランにとって大きな打撃となる。米国のイラン原油制裁法は、成立から180日後の時点で原油輸入のためイラン中央銀行と取引している国の金融機関を制裁対象としており、EUの期限設定はこれに対応した形。外相理事会はEU域内のイラン中銀の資産凍結でも合意した。禁輸と併せ「核開発の資金源」を断つことを狙っている。

EUのアシュトン外交安全保障上級代表は外相理事会に先立ち、制裁強化は「イランに核問題を協議する交渉のテーブルに着くよう求める真剣なシグナルだ」と強調した。

EUはこれまで段階的に制裁を強化してきたが、イランの核開発が「相当進展している」と懸念を深めていた。

イランの原油輸出量は日量260万バレルで、ロイター通信によるとEUはそのうち約45万バレルを輸入している。

米コダックが破産法申請
デジカメ時代に対応遅れ
130年の名門企業

【ニューヨーク1月19日共同】経営危機に陥っていた米写真用品大手イーストマン・コダックは19日、連邦破産法11条（日本の民事再生法に相当）の適用をニューヨークの裁判所に申請したと発表した。ロイター通信によると、昨年9月末の負債総額は67億5千万ドル（約5200億円）。130年以上の歴史を誇る名門企業だが、デジタルカメラの急速な普及など市場の変化に対応できなかった。

ペレス最高経営責任者（CEO）は「コダックが変わるために、破産法の適用申請は必要な措置だったと確信している」との声明を発表した。

破産法の申請対象はコダック本体と米国の子会社。米金融大手シティグループから9億5千万ドルのつなぎ融資を受けて、業務は継続する。裁判所の管理下で保有特許の売却や不採算部門の縮小などを進め、2013年中の再建手続き完了を目指す。

コダックの100％子会社で写真フィルム、印画紙などを扱う日本法人は「製品供給などで影響が出る可能性もあるが、営業やサポート体制に大きな変更はない」（広報）としている。

コダックは1880年創業。全世界で1万9千人の従業員を抱える。1935年には業界標準となったカラーフィルム「コダクローム」を発売。75年には世界初のデジタルカメラも開発するなど、業界で圧倒的な存在感を誇ったが、収益率の高いフィルム事業へのこだわりが、事業構造の転換を妨げた。

ライバルの日本メーカーとの競争も激しさを増し、95年には米通商法301条に基づいて日本市場の閉鎖性を米政府に提訴。米政府による世界貿易機関（WTO）への提訴など日米フィルム摩擦の発端となった。

2000年代に入ると業績は低迷し、最近は毎年のように赤字を計上していた。昨年秋に株価が1ドルを割り、今月初めにはニューヨーク証券取引所が上場廃止の可能性を示唆。運転資金の確保のために保有特許の売却交渉を進める一方、米アップルや富士フイルム、韓国のサムスン電子などを特許侵害で相次いで提訴していた。

育て！義肢装具士
比の養成校で邦人奔走

【マニラ1月3日共同】フィリピンで昨年6月、英国の非政府組織（NGO）が地元私立大の協力を得て、ギプスや義足を製作する義肢装具士の養成校を立ち上げた。NGOメンバーで講師を務める森本哲平さん（30）＝兵庫県明石市出身＝は、1期生9人の指導のほか、教材や資材の発注、工事が続く建物の管理にも目配りするなど学校運営を軌道に乗せるのに奔走している。

昨年12月中旬、マニラ首都圏ケソン市の養成校。「脚のラインに合うように丁寧に削って」。石こうを使い義足の型を作製する授業で、森本さんが生徒に語りかけた。

生徒で看護師のクリスティーン・ディーさん（31）は「技術だけでなく患者とのコミュニケーションの大切さを説いてくれるのがありがたい」と語る。

NGOは、カンボジア紛争の被害者支援を目的に設立されたカンボジア・トラスト。フィリピンのラモン・マグサイサイ大と提携し養成校を設立した。

「枯れ葉剤の影響で結合双生児になったのに義足をして元気に歩くベトナムのドクさんの姿に勇気づけられた」

日本でリハビリに励むドクさんのニュースを見たり、高校時代にドクさんの義足を製作した日本人の義肢装具士と出会ったりしたのが転機になったという森本さん。高卒後に兵庫県やオーストラリアの養成校で学んだ後、同県内の養成校で指導者に。同校を訪れたカンボジア・トラスト幹部に誘われ、東南アジアに飛び立った。

2009～11年5月までインドネシアの首都ジャカルタでも養成校の設立に携わった。フィリピンでは義足を待つ人が約15万人。しっかり訓練を受けた装具士養成は急務で「紛争と貧困で脚を失った人たちに役立つ人材を育てたい」と意気込む。

ケソン市の養成校はまだ看板もなく机がない教室も。今年4月以降、脚が切断された人のリハビリや義足が装着できるクリニックも開設予定だ。「工事が遅れてちょっと心配」と話す森本さんだが「日本に比べ独立志向の強い生徒の熱意に励まされている」と笑顔をのぞかせた。

「船傾き、立ってられず」
救助邦人が緊迫を証言

【ローマ1月15日共同】「部屋のテーブルの上のものが落ち、女性の叫び声が船内に響いていた」―。イタリア中部沖のジリオ島付近で地中海クルーズ中の豪華客船が座礁した事故。船に乗り合わせ救出された日本人乗客らは避難先のローマ市内のホテルで「船が傾き、真っすぐ立っていられない状態だった」などと脱出時の緊迫した状況を語った。証言からは船内がパニック状態に陥り、整然と避難誘導が行われなかった様子が浮かび上がる。

東京都の不動産鑑定士、国武久幸さん（51）は夕食を終え、妻と共に船室で休んでいた13日午後9時半（日本時間14日午前5時半）ごろ、どーんと船が大きな物にぶつかったような衝撃を感じた。テーブルの上の物が落ち、部屋の電気が消え、船がどんどん傾くのが分かった。廊下からは子どもの名前を呼ぶ女性の叫び声や悲鳴が聞こえた。

当初、船内アナウンスは「発電機の故障」と説明。しかし、午後10時半ごろに避難指示が出た。部屋にあった救命具を着け「階段を滑るように避難ボートのある階まで下りた」。

係員が避難ボートを海面に下ろすのに手間取る間に、船の床の傾きは30度くらいに達し「立っているのに力がいるほどだった」と話す。結局、ジリオ島から来た大型のボートに乗り込み、妻の手を握り締め、ようやく「助かった」と思ったという。

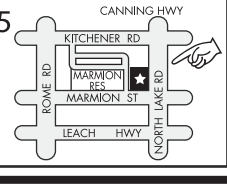
長野市から参加した60代の女性は夕食を終えてホールでマジックショーを見ていた時に事故が発生。当初は日本語の説明がなく、周りの人たちが避難し、救命具を身に着けているのを見ても「避難訓練が始まったのかと思った」という。

非常ベルが鳴ったため事故だと分かり、一緒にツアーに参加した友人と部屋に戻り、着替えて避難ボートのある階に行った。

しかし、乗客が多数おり、ボートに乗せてもらうまで1時間くらいかかった。ボートが岸に着いたときには拍手が起こった。初めてのクルーズ旅行が暗転、所持品もほとんど失ったが「今から考えればよく助かったと思う」と話した。

千葉県浦安市から娘と参加した別の女性によると、乗員の避難誘導は整然としていたという。映画「タイタニック」を思い出したというが、ボートを待っている間も島が近く明かりが見えたので「何とか泳げるのではないかと考え、命の危険はそれほど感じなかった」と話した。

Japanese CAFE 麗 ULARA
（旧Super Fuji）
DVDレンタル・販売
好評営業中
営業時間　9：00～18：00
定休日：日曜／祝日
スタッフ随時募集
245 Albany Highway
Victoria Park W.A.6100
Tel：(08) 9355 0882

韓国と日本の食材
アルコール類を
お買得価格で！
本格派のキムチ、美味しいお米、しゃぶしゃぶ用牛肉、豚薄切り肉、エノキダケやエリンギなど新鮮なキノコ類、韓国人参公社製紅参他、多彩な商品で皆様のお越しをお待ちしています。
☆免疫力・自然治癒力のアップ、自律神経のバランス調整に最適な紅参（韓国人参公社製）も取り扱っています。
Hanaro Mart Liquor & Grocery
Korean & Japanese Supermarket
Shop7 North Lake Shopping Centre,
67 North Lake Rd, Myaree WA 6154
TEL: 08 9317 4885
営業時間：
午前　9時～午後7時
木　午前　9時～午後8時
日　午前11時～午後6時
祝日休


YAKITORI
天下鳥
TENKADORI
おかげさまで2周年！
今後とも変わらぬ
ご愛顧を賜りますよう
お願い申し上げます。
焼鳥レストラン 天下鳥
5/502 Hay Street Subiaco WA 6008
Tel: (08) 9382 2291
info@tenkadori.com.au
LUNCH：午前11時～午後3時 ※土・日は午後12時～午後3時
DINNER：午後6時～午後9時（ラストオーダー午後8時30分）

消費増税は国民に還元
持続可能な社会保障目指す
首相、施政方針演説

【1月24日共同】

野田佳彦首相は24日午後、衆院本会議で就任後初の施政方針演説を行った。持続可能な社会保障制度の構築を掲げ、消費税の増税分は子育て支援や介護、年金国庫負担率維持などで「国民に還元する」と言明。社会保障と税の一体改革は「先送りする時間が残されていない」と野党に協議入りを強く要求する。同時に「行政改革に不退転の決意で臨む」と訴え、独立行政法人や特別会計の改革関連法案の今国会成立を期すとし、国家公務員給与や衆院議員定数の削減などに全力を挙げると強調する。

東日本大震災からの復興を加速し、東京電力福島第1原発事故で万全の対応を取ると力説する。

首相は、自らと同じく与党が参院で過半数割れする「ねじれ国会」に苦しみ、与野党協議を要請した自民党の福田康夫元首相らの言葉を引用し「今こそ『政局』ではなく『大局』を見据えよう」と協力を呼び掛ける。

一体改革では現在5％の消費税率を2015年までに2段階で10％へ引き上げる大綱素案を踏まえるとし、社会保障の機能強化で低所得者対策を充実、所得税の最高税率5％引き上げを挙げて理解を求める。

行政改革に関しては今後5年間で国家公務員宿舎を約25％削減し、国の出先機関の原則廃止に向け今国会に関連法案を提出する方針も列挙する。

12年度予算案の早期成立を図るとともに、今年半ばまでに経済成長やエネルギー戦略など中長期的な政策指針を具体化した「日本再生戦略」を策定すると重ねて表明する。

福島第1原発事故では徹底した除染のほか健康管理、円滑な賠償、警戒区域や計画的避難区域の見直しにきめ細かく対応すると約束する。環境省に「原子力安全庁」を新設する方針も掲げる。

外交面ではアジア太平洋地域の安定と繁栄を実現するため主導的な役割を果たすと強調する。北朝鮮の情報収集を強化し、不測の事態に備えて万全の態勢で臨むと明言。米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設に向けて全力で取り組む考えを示す。

行革、議員削減へ全力
震災復興を加速

日本の安全、ブログでPR
震災後に全国旅行の英国人

【1月19日共同】

「トラベルボランティア」として昨年9月から100日間かけて日本全国を旅行した英国人ペアが、史跡などの紹介とともに、日本の安全性をPRしたブログが人気を集めている。「東日本大震災で落ち込んだ海外からの観光客を呼び戻したい」と金沢市の旅行会社が企画したもので、アクセス数は約4カ月間で5万件を突破した。

発案したのは、富裕層向けの旅を提案している金沢市の「マゼラン・リゾーツ・アンド・トラスト」。震災後、海外からの予約がすべてキャンセルされ、新規の予約が入らないことに危機感を持ち、外国人の目を通して日本の実情を伝える計画を思い付いた。

応募があった85カ国、1897人の中からトラベルボランティアに選ばれたのは、いずれも英国籍の男性ライター、ジェイミー・ラフェッティさん（28）と、女性写真家ケイティ・モリソンさん（29）。昨年9月15日に富山県から旅を始め、12月23日まで電車などを使って47都道府県の名所旧跡などを巡りながら、ブログやフェイスブックなどに写真や感想を更新し続けた。

10月3日に福島県天栄村を訪れた際のブログには、米国で自分たちの家族がごく普通の生活を送る中で年間3ミリSv（シーベルト）もの放射線を浴びているといった趣旨の内容を記した上で、手に持った放射線測定器の写真を掲載し「今私達がいる福島での数値は年間1・4ミリSv（シーベルト）と、米国よりもずっと低い」とアピールした。

また11月11日に讃岐うどんを食べた高松市については「何と言ってもうどん！　ここには日本に求める全てがそろっています♪」と紹介している。

同社は、100日間のブログの記録をデジタルブックとしてまとめ、3月に世界中の個人や旅行会社に無料配信する予定。プロジェクトリーダーの木原彩さん（37）は「まだまだ日本は魅力が豊かで、安全安心な国。昨年8月以降は予約も上向いており、観光産業の復興に貢献したい」と話している。

逃亡17年の実態徐々に
教団と決別、質素な生活

【1月14日共同】

オウム真理教元幹部平田信容疑者（46）と元信者斎藤明美容疑者（49）の約17年に及ぶ逃亡の実態が徐々に浮かび上がりつつある。だが、2人が弁護士を通じて教団との決別や質素な暮らしぶりを次々に明らかにする異例の展開に、警視庁幹部は「出来過ぎた話」と懐疑的だ。長期間の逃亡に教団の支援はなかったのか―。全容解明へ捜査が続く。

▽ストイック

大阪市中心部から地下鉄で約10分。大阪府東大阪市のマンション8階に潜伏先はあった。1DKで、家賃は約8万円。斎藤容疑者が勤める整骨院が借り上げた寮だった。

部屋には布団1組と毛布が3枚。14インチのブラウン管型テレビと知人にもらったパソコン。家具はこたつぐらいだった。

「もっと物があってもいいが、ストイックなんです」と、両容疑者と接見した滝本太郎弁護士。

斎藤容疑者は近くの弁当店に土日以外のほぼ毎日、昼食を買いに来た。空揚げやコロッケ入りの300～400円の弁当を二つ。一つは平田容疑者の分だったとみられ、平田容疑者の逮捕後の年明けは1人分になり、天井一つと卵焼きを買ったのが最後だった。

外相が警察に依頼も
子どもの所在確認
ハーグ条約へ指針

【1月22日共同】

外務省は22日までに、国際結婚が破綻した夫婦間の子どもの扱いを定めたハーグ条約加盟に向け、連れ去られた子どもの所在確認などを行う「中央当局」の実務や権限に関する指針をまとめた。外相を責任者として同省に設置。海外から子どもの返還申請があれば、外相は居場所を探すため、地方自治体などへの情報提供要請や、警察への依頼ができるとしている。

外務省は指針に基づき、法務省と関連法案の作成作業を進め、3月にも通常国会に提出。会期中の成立を目指す方針だ。

指針では、外相は自治体のほか、学校や保育施設、ドメスティックバイオレンス（DV）被害者を保護するシェルターなどにも情報提供を求められると明記。要請を受けた側は「遅滞なく情報提供する」とした。こうした手続きを経ても子どもの所在が把握できない場合、警察への調査依頼もできると規定した。

また外相は、海外の申請者と子どもと同居する者とが、子どもの返還を義務付ける内容。未加盟の日本は欧米の批判を受け昨年5月、加盟を閣議了解。外務省は同省に置かれる中央当局についての検討を進めてきた。

捜査幹部「出来過ぎた話」

「ずっと部屋にいた」という平田容疑者は、テレビやインターネットで暇をつぶし、掃除などの家事をこなし、カレーやマーボー豆腐も作った。

▽定住

公証役場事務長の逮捕監禁致死事件に関与した疑いがある平田容疑者は、1995年3月の地下鉄サリン事件後の一斉捜索のころ、教団から1千万円をもらって斎藤容疑者と逃亡したとされる。

福島県、宮城県、青森県を経て仙台市へ。斎藤容疑者が「山口今日子」の偽名で働いた。

「人混みの方が紛れやすい」。96年ごろ、大阪市へ。約1年後には「吉川祥子」の偽名で整骨院のアルバイトとなり東大阪市に移り住んだ。

勤務態度を評価されて正社員になった斎藤容疑者は「吉川祥子」名義の健康保険証を手に入れると、銀行口座を開設、携帯電話も契約した。

月二十数万円の収入と別人に成り済ます身分証明書を失わないように、2人は東大阪市に10年以上にわたり潜伏した。

斎藤容疑者は整骨院でお年寄りに「しょうちゃん」と親しまれても、年賀状に住所を書かず「群馬県出身」「一人暮らし」と偽った。約7年前からマッサージを受けていた女性は「年寄りが愚痴を聞いてもらう場所。こちらが何かを聞くことはないから都合がよかったのでは」と振り返った。

▽疑念

10日に滝本弁護士に付き添われて自首した斎藤容疑者は現金800万円を任意提出し「教団からもらった逃亡資金の残りと、生活を切り詰めてためた金」と説明した。

松本智津夫死刑囚（56）＝教祖名麻原彰晃＝に「幻滅した」と教団との決別を強調し、逃亡断念の理由に「震災のショック」などを挙げ、謝罪の言葉を繰り返した両容疑者。滝本弁護士を通じて語った潜伏生活は「きまじめな平田容疑者と献身的に支える斎藤容疑者」という印象を受ける。

だが、警視庁幹部は「一見ほころびはないが〝愛の逃避行〟をうのみにするわけにはいかない」と疑念をあらわにする。

両容疑者は「当初の資金以外は一切支援を受けていない」と、約17年の逃亡への教団の関与を否定しているが、別の捜査幹部は「なぜこのタイミングで出てきたのか、松本死刑囚らの執行に影響を与える目的が本当にないのか、徹底的に解明する」と力を込めた。

義に生きて、漁師になる
元商社マンの立花貴さん

【1月12日共同】

闇に包まれた午前4時の東京・JR渋谷駅前。人通りはほとんどない。

ビルの前に停車したワゴン車に、防寒具に身を包んだ若い男女が乗り込んだ。「どうぞお休みください。目が覚めるころには着いていますよ」と、運転席の立花貴さん（42）があいさつした。

立花さんは東京で飲食業の会社代表、宮城県石巻市雄勝町で漁師という、二足のわらじをはく。東日本大震災の津波被害とその後の移住で、人口が6割以上減った雄勝に住民票を移した。妻子は今も東京に住む。

首都圏の会社員や公務員ら希望者を車に乗せ、雄勝へと案内してきた。片道400キロを超える道のりを週2回往復、参加者は600人に及ぶ。

夜が明けて、崩れた集落が目に入ってきた。「屋根を越えて波が来たんです」と立花さん。同乗の2人はがれきの山にぼうぜんとしている。「リアルな現場を見られた。法改正のアイデアを練る上でありがたい経験です」と話す20代の女性は、現役のキャリア官僚だ。

「被災地にできることを考えるには足を運ぶのが一番。何かを感じて帰ってほしい」。漁師姿で淡々と話す立花さんが、かつて一線の商社マンだったとは想像しにくい。

仙台市生まれの立花さんは、大手商社に約6年勤務した後、個人飲食店向けの食材販売会社を設立。軌道に乗った2010年、株を買い占めた投資会社により突然、解任されてしまう。片腕の部下にも裏切られた。

「彼らには〝義〟がない」。怒りは強かったが、新たな道へ踏み出すきっかけになった。「いかに効率よく物を動かし、利益を出すかを考えていたが、それだけではむなしい。日本の根っこにつながることがしたくなった」。奈良県で癒やしをテーマにしたレストラン経営に乗り出したとき、震災が起きた。

宮城県でボランティア活動をするうちに雄勝の漁師、伊藤浩光さん（50）と意気投合。これまでにない漁業を目指して、伊藤さんら漁師たちと水産加工販売会社「OH　ガッツ」を設立した。雄勝と元気のガッツをかけて名付けた社名だ。

同社では、1口1万円で「そだての住人」を募り、そのお金でカキやギンザケの養殖を行う。住人は現地で作業を手伝うこともできる。ビジネスマンとしての豊富な経験がある立花さんは、漁師グループの中で知恵袋的存在だ。

拠点は雄勝だが、東京での会社代表としての仕事は続く。車の運転中にも携帯電話に判断をあおぐ連絡がひんぱんに来る。睡眠3、4時間という日はざら。「忙しいけれど、50歳になるまでの7年半が勝負。世界にアピールできる地域振興の成功例を作りたい」

にじむ汗と穏やかな笑みに、「義」に生きる男の強い意志が見えた。

東京と被災地をつないで

「被災地、一気に身近」
修学旅行、あえて東北へ

【1月22日共同】

福岡県立修猷館高校（福岡市）が修学旅行先を当初の長野県から宮城県に変更し、今月、東日本大震災の被災地を訪ねた。多くの学校が東京電力福島第1原発事故を懸念して東北を避ける中での修学旅行。放射性物質汚染を心配する人たちからインターネット上で批判も受けたというが、生徒からは「遠かった被災地が一気に身近になった」との声が上がった。

▽不安の声

宮城県名取市の閖上地区。今月7日、高台から家の土台だけが残る風景を見て、涙をこらえる生徒がいた。同校2年浦越有希さん（17）。日常生活が奪われる現実を見て「将来、困っている人を助ける仕事に…」と声を振り絞った。

同校が宮城行きを決めたのは昨年6月。「将来を担う生徒たちに被災地を自分の目で見てほしい」（中嶋利昭校長）との思いがあった。ところが、生徒の多くは反発。保護者からは余震への不安の声も上がった。

「自主性を重んじる校風なのに先生たちが勝手に旅行先を変更した」。浦越さんも憤りを感じた。だが、宮城に行くことは意味があると感じ、昨年10月、修学旅行の生徒代表に手を挙げる。「みんなが納得する旅行にしたい」との一心だった。

学校側は原発事故を懸念する保護者向けに大学教授による説明会を開催。宮城県蔵王町を拠点にした3泊4日で、「スキー研修のみ」も含む三つのコースを設けた。修学旅行は自由参加で、2年生約440人のうち約350人が参加。浦越さんら約90人が宮城県名取市や石巻市など津波被災地を訪れた。

▽白熱の討論

被災地での経験を共有しようと宿で企画した討論は白熱した。男子生徒が「人に惨状を伝えるよりも復興への提案が大事。人口減少を防ぐため研究機関を誘致するべきだ」と口火を切ると、「テレビ映像で何度も見たが深く考えられなかった。被災地に行くことは物議を醸したが、360度のさら地をみて被害を実感できた」などと、生徒が次々発言し、マイクの順番待ちができた。

親族を亡くしたスキーのインストラクターが、スキーの合間に被災状況を写真で説明してくれていたこともあり、被災地を訪れていない生徒も多く発言した。

福岡に戻った浦越さん。被災地訪問の経験を「まだ自分の中で消化できていない」と話すが、毎日を幸せに生活できるありがたさを強く感じているという。

「高校生だからといって自分に限界をつくるのは駄目」。現地で医療支援活動を続ける人から言われた言葉が心に残る。浦越さんは「閖上がどう復興していくのか、遠くて関心すらなかった東北のことが一気に身近になった。今後も少しでも関わりたい」と考えている。

ネットでは学校批判も

在パース日本国総領事館

在外選挙制度について

海外から投票するためには、在外選挙人名簿への登録申請を行い、事前に「在外選挙人証」を取得しておく必要があります。登録申請から在外選挙人証の受領まで2～3か月を要しますので、在外選挙人証をお持ちでない方は、お早めに登録申請手続きをお願いします。

登録資格

◆ 年齢満20歳以上の方
◆ 日本国籍をお持ちの方
◆ 海外に3か月以上お住まいの方
（西オーストラリア州に3か月以上お住まいの方は当館で申請することができます）

なお、申請時において3か月以上住所を有していない場合でも申請することができます。この場合、3か月を経過した時点で当館より住所を確認させて頂いた後、登録先の市区町村選挙管理委員会へ申請書が送付されます。

ご注意

日本国内の最終住所地で転出届が未提出の方は、在外選挙人名簿に登録できません。一時帰国して転入届を行い、再び海外に転出した場合は、転入届をして4か月を経過した時点で在外選挙人名簿から抹消されるため、改めて在外選挙人への登録申請が必要です。

申請方法

申請者本人又は同居家族等（20歳以上の日本国籍を有する方）が必ず来館し、領事窓口で申請する必要があります。
（同居家族等には、在留届の氏名欄に記載されている方及び同居家族欄に記載されている方が該当します）

登録申請に必要な書類

1．在外選挙人名簿登録申請書（申請者本人の署名が必要です）
2．有効な日本国旅券（居住国の滞在許可申請中等で提示できない場合は、運転免許証などの写真付身分証明書）
3．西オーストラリア州内に継続して3か月以上住所を有することを証明する書類（住所記載の電気・ガスの領収書、住宅賃貸契約書等）
※「在留届」を当館に3か月以上前に提出している場合は、住所を証明する書類は不要です。
4．同居家族による代理申請の場合は、上記の書類の他に以下の書類も必要です。
（1）代理申請を委任する申出書
（2）代理申請者の旅券（旅券以外の身分証明書は認められません）

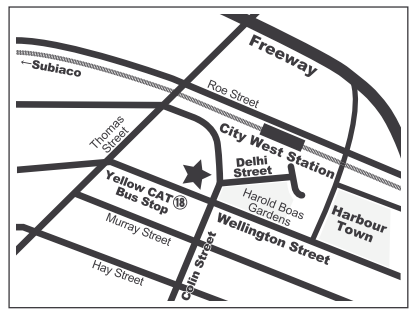
在外選挙に関する詳細は外務省ホームページ（http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/index.html）をご覧ください。

当館 E-mail アドレス変更のお知らせ

2012年2月13日より E-mail アドレスが変更となります。2012年2月13日以降に当館へ E-mail を送信される際には以下の E-mail アドレスへご送信ください。
新 E-mail アドレス　consular@pt.mofa.go.jp（証明書、旅券、在外選挙など、領事業務に関するお問い合わせ）
info@pt.mofa.go.jp（日本の観光や文化、日本語教育などに関するお問い合わせ）
2012年2月12日以前は下記の E-mail アドレスへ送信してください。

在パース日本国総領事館

■ 住所：　U22 / Level 2, 111 Colin Street, West Perth WA 6005
■ 郵便送付先：PO BOX 1915 West Perth WA 6872
■ 代表電話：　08-9480-1800　■ FAX：08-9480-1801
■ E-mail：　ryoji@jpnwa.com（在外選挙など領事関係）
info@jpnwa.com（観光、文化関係など）
領事窓口時間　9:00～12:30　14:00～16:00（土・日及び休館日を除く）



小説の自由度示す3作
芥川、直木賞選考経過

【1月19日共同】

「該当作なし」だった前回から一転、第146回芥川賞は円城塔さんの「道化師の蝶」と田中慎弥さんの「共喰い」の2作に決まった。直木賞を射止めたのは5回目のノミネートだった葉室麟さんの「蜩ノ記」。古典的な作風から実験的作品まで、小説が本来持つ自由度を示す結果となった。

▽新しい小説

芥川賞の選考経過は今回で選考委員を退く黒井千次さんが説明。

早々に受賞が決まったのは、性や暴力という古典的なテーマを追究した田中さんの作品だった。最初の投票で過半数の支持を獲得。「情景が厚塗りの油絵のように生き生きと、執拗に描かれている。普通の才能ではない」と激賞した。

一方で、評価が割れたのが、言葉とは何かを考察した円城作品。起承転結を排した抽象的な内容が「よく分からない」とする意見もあれば、新しい小説の形だとして積極的に推す声も。最終的に〝支持派〟が押し切る形となった。

石田千さん「きなりの雲」は「別れた男のことがうじうじと書かれ、（物語が）飛ばないし、走らない」と辛い評価。広小路尚祈さん「まちなか」、吉井磨弥さん「七月のばか」も推す声はなかったという。

結果的に選ばれたのは両極端な作風の2編。黒井さんは新人賞という芥川賞の性格に触れ、「門戸をできるだけ開き、自由な場所であってほしい」と意義を強調した。

▽円熟

直木賞は人情味の香る時代小説に決まった。選考委員の浅田次郎さんは、これまでの葉室作品は説明が多く、てらいがあったと指摘。「受賞作は、足りない部分を堅実に改めた」と語り、「デッサン力があり、目配り気配りが行き届いて安心して読める。円熟といってもいい成長ぶりだ」と絶賛した。

葉室さんと決選投票となった桜木紫乃さんの「ラブレス」は、ストーリー展開が評価されたものの「話が進行する中で矛盾があった」という指摘もあり、一歩及ばず。伊東潤さん「城を嚙ませた男」は、時代小説で書かれるべきテーマである関東武士を描いたと賛辞が寄せられたが、受賞には至らなかった。

歌野晶午さん「春から夏、やがて冬」は「ストーリーが直線にすぎる」、恩田陸さん「夢違」は「天性の発想力だが、今までの作品に比べると必ずしも良くなかった」とする意見が多かったという。

東日本大震災後の世界を舞台にした真山仁さん「コラプティオ」は「3月11日後に改稿したということで頭の下がる思いだが、文学賞というタイプの小説ではない」との評価だった。

異国から見えた閉塞感
「日本を捨てた男たち」の水谷竹秀さん

【1月10日共同】

海外からは「金持ちの国」と思われがちな日本だが、フィリピンでは路上生活やホームレス状態に陥った日本人、特に中高年の男性が多く存在し、問題化しているという。彼らのように海外で経済的に困窮状態となった日本人は「困窮邦人」と呼ばれている。

フィリピンの在留邦人向けメディア「日刊マニラ新聞社」で事件担当の記者をしている水谷竹秀さんが約2年間かけて、異国の地から戻れなくなった、あるいは戻らない人生を選択した男たちを追ったルポルタージュが昨年、開高健ノンフィクション賞を受賞し、本となった。

「フィリピンの困窮邦人の多くは、日本の夜の街でフィリピン人女性と出会い、彼女たちを追いかけて来たパターン。その結果、滞在先で所持金を使い果たし、日本に帰れなくなった」と苦笑いしながら語る水谷さん。

外務省の統計によると2010年に在外公館に駆け込んで援護を求めた困窮邦人は768人。その中でもフィリピンが332人と断トツに多い。

ルポでは主に5人の日本人が登場。自動車工場の元派遣社員、偽装結婚のわなにはまった男―。日本でのバッグボーンはさまざまだ。

彼らは教会で寝泊まりしたり、体をこわして施設に入所したりしながらも、なんとか生きている。なぜフィリピンで、お金がない日本人が生活できるのか。水谷さんは「国民の9割以上がキリスト教徒で人を助ける精神が浸透している。また日本人を助けている人たちの多くは自身も貧困層で困った人の立場を理解している」と分析する。

最初は「社会的な弱者」という視点から取材を始めたが、やがて葛藤も生じたと振り返る。取材対象者はわがままで自分に都合のいい話しかしないし、お金を無心してくることもある。「自己責任という言葉が頭に浮かんだ。フィリピンの人に対し、同じ日本人として申し訳ないという気持ちにもなった」

だが、その取材の先に見えてきたのは、フィリピンから遠く離れた日本社会の現実だった。

「彼らは日本に戻っても仕事がなく、親族との人間関係も希薄な人が多い。派遣、無縁社会など現代日本が抱える問題や閉塞感が、困窮邦人を生んでいるのかもしれない」

日本経済新聞 電子版

www.nikkei.com

詳しくはこちら
http://pr.nikkei.com/

日本経済新聞 電子版

情報時差ゼロ

昨年創刊した日本経済新聞電子版は、日本と同じタイミングで東京最終版の朝夕刊を読めるほか、随時更新される速報ニュース、ユーザーのニーズに合わせた情報収集ができる「My日経」機能、専門分野の情報を集めたセクション版、各種メールサービスが充実。海外での情報収集の切り札として欠かせません。

（基本料金）
法人契約（3 ID以上をご契約の場合）・・・1 IDあたり月額 S$60 ｜ 個人契約・・・月額 4,000円
※1人につき1 IDのご利用となります。
※記事検索は月25件までは無料、26件目より追加料金が発生します。人事検索は1件目より追加料金が発生します。

お申し込み
法人契約 http://nikkei.asia/j-denshi-houjin-01.php
個人契約 http://pr.nikkei.com/price/r123.html

日本経済新聞国際版ご購読キャンペーン実施中！

選べる特典
右記のⒶ～Ⓒより、お好きなものを1つお選びください

Ⓐ NIKKEI
日本経済新聞社発行の書籍
書籍：「やさしい日経経済用語辞典」
日本経済新聞（編）
※書籍は予告なく変更する場合がございます。

Ⓑ ANA マイレージ 2000マイル

Ⓒ JAL マイレージ 2000マイル

その他にも多数の特典があります。

日本経済新聞国際版をご購読の方は、無料で電子版にご登録いただけます。

ご購読料金 A$220（1ヵ月・税別）

お申し込みは www.nikkei.asia キャンペーンコード AJA

NIKKEI
日経アジア社 NIKKEI ASIA PTE LTD
331 North Bridge Road #13-02/03 Odeon Towers Singapore 188720
Tel : (65) 6336-4122 Fax : (65) 6336-4016 E-mail : sales@nikkei.com.sg

【特別寄稿】

老若男女

寺澤 芳男

「蚤の夫婦」といってもわからない若者が多いのに驚いた。奥さんが旦那様より大きい夫婦のことをいうのだが、私たちの年配で通用する日本語が必ずしも若い人の間では通用しないのを知り唖然とした。

こういう違和感は薄々感じていた。四、五年前ちょうど十二月八日の日にゴルフをプレーしていた時、三十歳くらいの女性のキャディに、今日は何の日か知っていますかと言ったら、さあと首をかしげた。昭和十六年十二月八日は真珠湾攻撃で太平洋戦争が始まった日である。まさかとは思うが、渋谷で若い女性に大東亜戦争のことを聞いたら、「アメリカと戦争をしたのですか。そしてどっちが勝ったのですか」と聞き返されたという。いつだったか、大手銀行の研修会で相撲の双葉山の話をしたら、みんなきょとんとしていた。

時代は移り変わる。我々七十五歳以上の後期高齢者の間では何の不自由もなく飛び交っている日常会話が、若い人の間ではほとんど理解されていないのかと思うと寂しくなる。

先日、日本コカコーラのトップと会食した。一メートル八五センチの長身で、小顔で肩のあたりにいかにもスポーツをやっていたような筋肉の盛り上がりがシャツの上からでもわかる。五十半ばの男盛りだ。時々大学で若い学生と話をするチャンスがあるらしい。今の子はぜいたくに慣れているから、日本がもっと貧しかった昔のことを話してみようと話し始めたが、どうも漂う雰囲気がおかしい。

日本でよくいわれる「失われた十年」というのは不正確で、失われたのは「二十年」である。つまり、今十八歳から二十二歳までの大学生は好景気に恵まれたことは生まれてこのかた一度もなかった。父親が職を失ったり、普通の真面目な家庭では経済的に非常に困窮した状態がずっと続いた。不況に強いというのが大学生の一面にはある。だからせめて自分たちは安定した職業につき、出世などまったく望まないから、安穏な家庭生活を営みたい、そのためにはつぶれない会社に就職したい、こういう安全・安定でそこそこ快適な生活をみんなが求めている。コカコーラのトップは今の大学生に何を語ったらいいのか頭を抱え込んだ。

昨年は「絆」という漢字が毎年の年一回の日本漢字能力検定協会で発表された。三月十一日の大震災から家族、仲間、友達同士のつながりがとても大切だということをみんなが肝に銘じた。災害があろうがなかろうが、人の絆は大切である。ただ、個人個人が自立して他人に不干渉な生活を送る先進国型社会になると、人々はますます孤独になっていく。

昨夜八十八歳の男性と話をしたら、彼の友達でやはり八十八歳の元医者が彼とバーで飲んだ翌日亡くなり、家族に発見されたのが一週間後だったという。今よくある孤独死である。その友達曰く、相手が医者だったから、そしてあまりにも元気だったから、まさかあんなにぽっくりと逝くとは思ってもいなかった。

考えようによっては、八十八まで生きてぽっくり死ねるのは幸せだったのではなかろうか。まわりに八十歳を過ぎても元気なお年寄りがたくさんいる。いろいろな会合に顔を出して、疲れもみせない。そして弱音も吐かない。昔はよかったという話と、今どきの若者たちを強烈に批判し鼻息が荒い。聞いているだけで疲れてくるほどだ。でもふと思う。八十過ぎて元気でいられるバイタリティの源は、若い連中にターゲットを絞って攻撃するなかに潜んでいるのかもしれない。

先日はフルブライトの同窓会の人がやってきて、二〇一二年の六月の年次総会で講演をしてほしいという依頼を受けた。まだ五カ月も先の話だ。その時の体調、特に最近ますますあやしくなってきた滑舌の状態など見通しが立たないから断った。半年も先にのっぴきならない楔を打たれ、自由がきかなくなるのはたまらない。毎日元気で生きるということは、それだけで大したことなのである。老若男女がそれぞれひしめき合いながら生きているという世の中はなかなか面白い。

■特別寄稿■

二つの祖国

和泉 清

ある日系2世の数奇な生涯

昨年の12月8日は太平洋戦争勃発70周年記念日であった。同日付の「東京新聞」掲載の「2つの祖国　揺れ続け　家族分断　生き抜いた」の記事は、米国生まれのある日系2世、Nさん（88歳）がたどった数奇な生涯を語るメモワールである。山崎豊子著「二つの祖国」や真保裕一著「栄光なき凱旋（がいせん）」は、自分のidentityに悩みながら兄弟の間を裂かれた末に銃を撃ち合った日系2世の悲劇を綴（つづ）る小説であるが、これはまさに事実は小説より奇なりを地で行くものに他ならない。

一昨年、同氏が同窓会誌に寄せられた記事「母国と戦った私」が縁で知遇を受け、昨春ご夫婦にお会いすることができた。その際、年齢を思わせないかくしゃくたる元海軍飛行少尉から来し方の一端をお聞きする機会を得た。

開戦…学徒出陣

6人兄弟の次男としてシアトルに生まれたNさんは、排日感情の高まる米国に別れを告げて1932年（昭和7年）9歳のとき家族と共に一旦帰国したが、事態の幾分の沈静化と共に両親は彼と兄、妹を祖父に託して再渡米した。70年前のこの日朝の真珠湾攻撃を告げるラジオニュースは、広島に残されたN少年にとって全く衝撃的であった。帰米の夢は断たれ目の前は真っ暗となった。後に判明したのであるが、在米の両親や弟たちは敵性外国人として拘束され、終戦までワイオミング州の邦人収容所生活を余儀なくされたのである。旧制Y高商在学中の1943年、彼はいわゆる学徒出陣令により召集され、海軍飛行専修予備生徒に採用された。日本語が上達していたので、海軍では誰も米国2世とは思わなかった。ところが、息子の安否を尋ねた収容所の両親よりの電報から身元がわかり、上官に追い詰められたあげく、返事の仕方が悪いとの理由で殴られたときは悔しかったと語る。その後、特攻隊を志願したが受け入れられず、海軍飛行予科練習生（予科練）の教官として雲仙基地で敗戦を迎えた。

海軍OBとして忙しく

戦後は英語力を買われて米軍の通訳としてしばらく勤めたのち、外資系銀行勤務や貿易会社経営に参画した。現在は、海軍OBでつくる関東海軍一生会の事務局を務める一方で、米海軍名誉会員として、当時の戦友や交戦相手に関しての問い合わせに多忙な日々を過ごしている。本紙2010年12月号掲載の拙稿「武士道と騎士道」の中で、撃沈され海上に漂流する英艦乗組員を救助した日本海軍駆逐艦「雷（いかずち）」の美挙（1942）と同様に沈没米空母乗員に対してとった駆逐艦「藤波」の武士道的行為（1944）を紹介したが、Nさんは今もこれを忘れない生存元米兵の依頼で「藤波」乗員遺族との連絡に当たっている。

今は日本人が9割

フィリピンなどで仲間が戦死したのを聞いてだんだん米国が憎くなった、たとえそれが自分の国だとしても。軍隊の教育の徹底ぶりを述懐されるのをお聞きして、私も神州不滅の妄言を叩（たた）き込まれた少年時の学校教育を思い出す。しかし敗戦を機に、同氏の生き方が変わった、これで米国に帰れる、両親に会えると思うようになったそうである。敗戦4年後、米進駐軍兵として来日した弟から「なぜ日本軍隊に入ったのか、なぜアメリカ人なのに入隊を拒否しなかったのか」と詰問を受けて絶句する。いくら自分の意思ではないと説明しても理解してもらえなかったと当時を振り返る。

「二つの祖国」で揺れ動き続けた70年余りだが、米国では「ジャップ、ジャップ」と罵倒され、日本に帰るとたどたどしい日本語に「お前は毛唐だ」といじめられたのが悲しかった。今は日本人が9割、米国人が1割と笑う曽祖父N氏は、さらに「何度行っても米国が懐かしいとの気持ちは変わらない。自分が生まれた国だから」と続ける。

約3千人が日本軍兵士に

戦前約5万人の2世が来日したといわれるが、大戦中の滞日2世の数は1・5万人程度で、そのうち約半分は男性、さらに半分が徴兵年齢に達していると考えると、日本軍兵士になった2世の数はおおよそ3千人ではなかったかと推定される（門池啓史著「日本軍兵士になったアメリカ人たち」より）。愚かな戦争のおかげでこれらの人々が悲劇的運命に翻弄（ほんろう）され、その上日米の懸け橋となったであろう多くの有望な青年が尊い命を失ったのである。

最後にNさんは日米関係のあるべき姿を述べてくれた。いわく、「はっきり意思を示す米国人に対し、態度を明確にしようとしない日本人の国民性は変わっていない。通訳を介さなくてもお互いの国の指導者同士が本音を語れるまでの関係を築くこと」と。全く耳の痛い指摘である。

（大阪日豪協会監事）

信頼のブランドKDDI
経験豊かな日本人スタッフが
親切丁寧にサポート致します
ADSL2+
お申込受付中
☆ 最大速20Mbpsのダウンロードで動画もスムーズ
☆ オン/オフピークの時間帯制限なし
☆ 契約期間　1ヶ月より可
☆ 12ヶ月契約なら初期費用無料
KDDI AUSTRALIA
お問い合わせは JA NEWSまで　☎ 1300 551 246　E-mail: info@janews.com.au

NBC 自分を磨く通信講座
NAATIって何？
翻訳家／通訳者として
オーストラリアに永住したいと
考えたことはありませんか？
NAATI（National Accreditation Authority for Translators and Interpreters＝オーストラリア翻訳通訳国家認定資格）はオーストラリアで翻訳家または通訳者として活躍したい方にとって、なくてはならないパスポートです。
オーストラリアの移住申請制度にあるポイントテストで、NAATI認定翻訳家はカテゴリーにより最高の60点を取得できる場合もあります。
有国家資格翻訳家になる！豪永住への近道！
A$990～（税込み）
NAATI受験対策翻訳講座（英日・日英）
（3・6・12か月コース）
将来プロとなるために、翻訳を基礎から学ぶ
A$495～（税込み）
翻訳家養成講座
（基礎・中級・上級コース 各3・6か月）
上記の他 通訳通学講座もございます
※シドニーのみ
当通信講座の特徴
■ プロとして、また大学等で実際に教授している経験豊富な講師陣が担当。
■ 日本語によるきめ細かな指導で、実力も大きくアップ。
■ いつでも、どこでも、思い立ったらすぐ実行！
■ どこに居ても勉強できる。引っ越しや日本帰国後も継続可能。
資料請求はJA NEWSまで ☎ 1300 551 246 Fax: (+61 8) 9207 2523 E-mail: info@janews.com.au

ダイビング・コラム

PADI コース・ディレクター
河野（こうの） 真由美（まゆみ）

同じ海に潜るのでも、ボートを使えばもっといろいろな場所へ簡単に行けるし、目的のポイントまで短時間で移動することができます。地形が面白かったり、珍しい魚がいたりとメリットはたくさん！　ボートダイビングに慣れれば、もっともっとダイビングを楽しめるようになるでしょう。そこで今月は、ボートダイビングをする時の９つのポイントを挙げてみました。

☆☆☆ボートダイビング　９つのポイント☆☆☆

ポイント１　器材のパッキング

ダイビング前日に準備をする時、バッグへの器材の詰め方も大切！　ボートの上では器材を広げるスペースがないので、手早くわずかなスペースで器材をセッティングしたいもの。だから最初にセッティングする重器材は上に、エントリー直前で身に着ける軽器材は下の方に詰めておけば、効率よく器材が取り出せます。

ポイント２　器材のセッティング

利用するボートによって変わってきますが、できればボートが出航する前にタンクに BCD やレギュレーターをセッティングしておきましょう。ボートに慣れてない人は、ボート上ではなく安定した地上でセッティングする方が安心！　ポイントが遠くないのなら、スーツも着ておくと船酔い防止にもなります。

ポイント３　ポイントまでの移動

セッティングも終わって、いよいよ出航！　こんな時、ついつい浮かれて船の舳先（へさき）へ行ってしまいがちですが･･･。最も揺れの少ない場所は、船の中央。腰をどっしりと下ろして、荒波にも揺るがない姿勢を保てるとよいです。

ポイント４　船酔い対策

ボートダイブをする上で、最も頭が痛いのが船酔い！　私自身も船にはとても弱いので、船酔いの辛（つら）さはよく分かります。だから、不安な人は予防をしておくのが一番。予防策としては、前もって薬を飲んでおく、地平線を見る、排気ガスを吸わない、揺れの少ないボートの中央部にいる、脂っこい食事を避ける、体を締め付けない―など。それから、酔うのを意識しないことも大切！　他のダイバーとのおしゃべりを楽しんだり、リラックスしたりしましょう。

ポイント５　ブリーフィング

潜水前に行われるブリーフィングでは、地形や見られる魚、注意点、エントリー／エキジットの手順などをボートのスタッフが説明してくれます。楽しく安全にダイビングを行うために、一人一人がきちんとこのブリーフィングを聞いておくことが大切。そして分からないことがあれば、必ず質問してください。

ポイント６　エントリー

ポイントに到着したら、スタッフの指示に従ってタンクを背負っていよいよエントリー。ボートダイビングのエントリーは、バックロールとジャイアントストライド（オープンウォーターコースで習います）ができれば大丈夫！　マスクとレギュレーターをしっかりと押さえてエントリーしましょう。

ポイント７　エキジット

ダイビング終了後、安全停止を済ませてから一人ずつエキジット。はしごを使ってエキジットする場合は、フィンを脱いでからエキジットします。その際、片手ではしごをつかんでいるだけでは波で流されてしまうので、はしごに体を固定するような感じで素早くフィンを脱ぐとよいです。フィンを脱いでから波にさらわれると、思うように泳げないので注意！　マスクは最後まで取らないようにしましょう。

ポイント８　トイレ

特に女性ダイバーにとって、トイレの有無は大きな問題！　ない場合は水分のとり過ぎや体の冷えに気を付けないといけません。また女性ダイバーは、生理の時は恥ずかしがらずにスタッフにあらかじめ報告しておくと、トイレについても考慮してもらえるはずです。

ポイント９　日焼け

ここオーストラリアは特に日差しが強いので、日焼け止めを忘れずに携帯しましょう！　海上では上からの直射日光に加え、海面で反射した日差しを下からも受けるので、日陰にいても焼けてしまいます。肌を焼きたい人も、初めは必ず軽度の日焼け止めを塗るようにしましょう。

連載 その 80　オーストラリア・ワインの話

テリー 寺本（てらもと）

前回はちょっと一休みして Winemaker's Dinner などについてお伝えしましたが、ハンターの家族経営のワイナリーのご紹介に戻ります。

■ Hungerford Hill Wines
（ハンガーフォード・ヒル・ワインズ）
設立：1970 年

シドニーから来て Cessnock（セスノック）の街を通り、ハンターへの入り口を左に曲がったところに最初に見える左側のモダンな建物が、ハンガーフォード・ヒル・ワインズです。

オーナーは Kirby（カービイ）ファミリー。1924 年に祖父が始めた、車、冷蔵／冷凍、エアコンなどの施工事業で成功した一家です。現在３代目の James Kirby はワインへのパッション止（や）み難く、2002 年にこのワイナリーを買い取り、建物を建て替えて現在のセラードアにしました。

チーフワインメーカーの Michael Hatcher（マイケル・ハッチャー）は NSW 州の Charles Stuart University（チャールス・スタート大学＝ SA 州のローズワーシー・カレッジに次ぐワイン専門の大学）卒業後、ヨーロッパの Old World Wine（ヨーロッパで伝統的な手法により造られたワイン）の生産地で研鑽（けんさん）を積み帰国。New World Wine Country（アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ、南アメリカなどの新興ワインカントリーを指す）の新しい技術、手法を取り入れてワイン造りに情熱を傾けています。

既存のハンターヴァレーのヴィンヤードだけでなく、NSW 州の南、キャンベラ方向の Tumbarumba（タンバランバ）や Hilltops（ヒルトップス）などに畑を持って高品質のワインを送り出しています。

◇ 2010 Fishcage Semillon Sauvignon Blanc　＄18
ハンターのセミオンとソーヴィニオン・ブランのブレンド。ちなみに Fishcage というシリーズは“Catch of Today”からきているとか。

◇ 2010 Fishcage Chardonnay　＄18
Tumbaraumba からのフルーツで造られていて、優しく優雅なシャードネイ。

◇ 2009 Fishcage Cabernet Merlot　＄18
40 年の経験から造られたエレガントなブレンドの赤ワイン。

◇ 2010 Hunter Valley Rose　＄20
ランチなどの軽いお食事に最適のロゼ。

なお、ハンガーフォード・ヒル・ワインは海外 20 カ国（カナダ、香港、中国、インドネシア、アイルランド、スウェーデン、オランダなど）に輸出されており、日本でも手に入ります。ここのレストランは、ワインと合わせて出してくれるかなり良質なお料理で知られています。

■ DE IULIIS（デウリイス）
設立：1987 年

スペルから見ると読みにくいのですが、“de uli iss”と読む、と教えられました。赤ワインの良さが印象に残っているワイナリーです。

1987 年に買い取り、３年かけて土壌整備をして、1990 年に Chardonnay、Semillon、Shiraz が植えられました。2001 年に現在のモダンな建物がセラードアとして完成しました。比較的新しいワイナリーですが、高品質を目標に年とともに各地のワインショウで入賞を果たしています。ちなみに、このワインは全てハンター産のフルーツを使っています。チーフワインメーカーは３代目の Michael De Iuliis（マイケル・デウリイス）です。

◇ 2004 Chardonnay Pinot Methode Champenoise　＄24
シャンペン方式で造られた本格的なスパークリングワイン。

◇ 2010 Semillon　＄18
柑橘（かんきつ）類の香りが高く、さっぱりした飲みやすいセミオンです。

◇ 2004 Aged Release Semillon　＄25
ハンター独自の８年寝かせたセミオン。

◇ 2010 Show Reserve Verdelho　＄18
パッションフルーツとパイナップルの香りがすがすがしいヴァデロ。

◇ 2009 Show Reserve Chardonnay　＄18
ほのかにピーチの香りがしてクリーミーな味わいのシャードネイ。

◇ 2008 Cabernet Sauvignon Merlot　＄18
50％／ 50％のブレンド。フルーツの甘さが感じられるバランスの良い赤ワイン。

◇ 2009 Charlie Shiraz　＄25
現在のワインメーカーの祖父（Charlie）が情熱を注いだ赤ワインにちなんで Charlie De Iuliis からつけられた。

◇ 2007 Limited Release Hunter Valley Shiraz　＄60
ブラックチェリーの香りがする典型的なハンタースタイルのフルボディシラーズ。

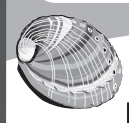
このセラーの隣にあるカフェ／レストランは、とても品が良くお料理も美味（おい）しいのでお薦めです。

NHK ワールド・プレミアム・オーストラリア
日本語テレビです。
NHKの総合、教育、BSをミックスした海外向け放送
衛星で全国カバー
小型アンテナでOK

ニュース
ドラマ
スポーツ
音楽
生活情報
ドキュメンタリー
子供番組
視聴料
月額
$49.95

お問い合わせ
テレビジョン・オセアニア
NHKワールド・プレミアム・オーストラリア
カスタマーセンター
Tel 1800 196 003
Fax 02 9212 4464
Email: info@japantv.com.au
URL: www.japantv.com.au
NHK WORLD

会WA
English-Japanese conversation exchange in the city
「会 WA」参加者募集のお知らせ
JET プログラムの経験者でつくる JETAA 西オーストラリア支部では、気軽に英日会話が楽しめる交流会を定期的に行っています。参加費はゴールドコインで (おつまみ代となります)。今後の開催予定は以下の通りです。ふるってご参加下さい。
*
会 WA is held from 5:30pm on Thursday every two weeks in the function room at 43 Below. A gold coin donation is encouraged to pay for food!
*
Date : February 9 & 23 2012
Time: from 5:30pm(you don't have to be there on time!)
Venue: 43 Below (corner of Hay & Barrack)
*
問い合わせ先／ Inquiries
ニック（Nick）
Tel: 0408-083-131 / president@jetaawa.com
18+ only ; photo ID required

旅のお土産に、親しいあの方に心を込めて贈りたい
生きたままの新鮮なロブスター、アワビを日本の食卓へ

活ロブスター＆活アワビ
日本国内宅配サービス
※一年を通してご利用いただけます
活ロブスター(約1kg/2～3尾)　A$150 (宅配料金込み)
活アワビ　(約1kg/3～4枚)　A$150 (宅配料金込み)
・“調理のしおり”を添えてお届けしますので、初めての方にもご安心いただけます。
・ご贈答として“のし”をお付けすることも可能です。
お問い合わせ、お申し込み用紙は
JA NEWSまで日本語でどうぞ
☎ ：1300 551 246
Fax : (+61 8) 9207 2523
Email : info@janews.com.au

●離島、北海道、沖縄へのお届けは別途A$12いただきます。
●大きな為替変動があった際には予告なしに料金が変わることがあります。
AUSTARS Pty.Ltd.

旅の思い出あれこれ（その12）
イギリス、アイルランド（1）

連合王国

イギリスとアイルランドとの関係については、本紙で2000年に「差別問題」を取り上げた際に書いたことがある。私たち日本人は、海外旅行が盛んな割には外国事情に疎い人が多い。学校で西欧史など詳しく習わなかったからだと言い訳をする人がいるが、それは怠慢と言うほかないだろう。

そもそも、＜イギリス＞とか＜英国＞などと国名があるわけでもないのに、日本ではそれが当然のようにまかり通っていることが不思議でならない。このような事情が日本人をして西欧を正しく理解できなくしてしまっている原因ではないかと思ったりしている。

日本人が言うところのイギリスや英国とは、イングランド、ウエールズ、スコットランド、北アイルランドの4国で構成する「ユナイテッドキングダム（連合王国）」または、「グレートブリテンおよび北アイルランド」とかいわれるものである。だからUKと呼ぶ場合は北アイルランドが省かれている印象を受ける。「グレートブリテン」は、イングランド、ウエールズ、スコットランドがある島のことで、日本で言い換えるならば「本州」のようなものだ。それに奪い取って返さないアイルランドの北部が入って4つの国の連合王国ということになる。

こういう事情を知らないで連合王国（こういう言い方のほうがややこしいが…）を旅していると恥をかくことにもなりかねない。

言葉や通貨が同じだから一つの国ではないかと考えがちだが、それも違う。特にスコットランドは独立心が強く、イングランドと同じに扱ってほしくないという気概が強く独自の通貨も持っている。国境ではパスポートを要求される場合もある。私が乗ったバスの場合は、スコットランドの法律による荷重制限によってバスから荷物を全部降ろさせ、荷物は別の車で運ばされるという事態を招いた。運転手によるとスコットランドの嫌がらせだという。北海道から沖縄まで同じ法律の中で生活できるのとはわけが違うようなのである。

1カ月間のバス旅行

私が初めてアイルランドに旅したのは1996年で今から16年も前のことになる。ロンドンを起点にして約1カ月間西ヨーロッパ諸国を回り、1週間後にはロンドン～ウエールズ～アイルランド～スコットランド～イングランドを巡る約1カ月間のバス旅行に参加した。バスの乗客のほとんどがオーストラリア人だったのは、オーストラリアで企画されたツアーだったからだと思われる。私たちもオーストラリアからツアー参加を申し込んだのだ。

今回から何度かに分けてこの時の経験を、記憶をたどりながら書きたいと思っている。

さて、バスはロンドンを出発して最初にバース（Bath）に着いた。2世紀からローマ人によってつくられた温泉地である。風呂（bath）という言葉になった語源的な存在だ。

バースを出てウエールズ地方に向かった。しかし今どんなにもがいてもウエールズ地方での思い出が全くない。特に印象的なところがなかったのか、私の記憶装置の問題なのだろうか。もともとウエールズという地名もあまり知られていない。ブリテン島の西側の出っ張り部分だけの小さな国だからだし、歴史上にもあまり登場しない地味な存在でもある。アイルランド共和国と同じケルト民族ながらアイルランドとは別の道を歩いてきたような印象がある。

というわけで、ウエールズのホリーヘッドからフェリーボートに乗ってアイルランド共和国の首都ダブリンへ到着した。ダブリンからの記憶は今もって鮮明に覚えている。だからこの項ではアイルランドのことを深く書きすすめたいと思っている。

アイルランドについては興味が絶えることがない。特にという理由はないが、掘り下げるほどに関心が深まるから不思議な国でもある。

虐げられた歴史

第2次世界大戦が終わるまでの800年間にもわたってイギリスから植民地として差別し続けられたという、信じられないほど虐げられてきた国である。800年間というのがどれだけ長い期間かを知るためには、日本の徳川幕府が260年間だったことを考えても想像できる。日本が朝鮮半島を植民地とした期間が35年間だったことから考えても800年間の長さを実感できるかもしれない。その間、結婚の自由も奪われ、職業の選択の自由も奪われていた。何よりも過酷な収奪が行われ、アイルランドは世界的に見てもひどい貧しさの国だった。

アイルランドから逃れてアメリカへ移民する人たちが増えたのもそういう背景があるからである。アメリカ映画を見ているとアイルランド人が多く登場する。その多くは「警官」である。アメリカでは警官はアイルランド人がなるものだと思われるほどになっていたらしい。映画「タイタニック」では、タイタニック号の船底の格安の部屋でアイリッシュダンスに興じる風景が描かれている。アイリッシュダンスを知らない人には理解できないだろうが、映画ではそれを見せることで、アイルランドからアメリカへの移民集団だと分かるように設定されている。アイリッシュダンスを舞台化したものに「リバーダンス」がある。素晴らしいリズム感と機敏なダンスは時間の経（た）つのも忘れるほどの迫力がある。映画「タイタニック」は、アイルランドの貧しい青年と上流階級の娘との恋物語でもある。

プロゴルファーに日本語を教える

私が個人的にアイルランド系の人と出会ったのは、パースで日本語を教えていた時だった。Nick O'Hern（ニック・オハーン）という20歳の青年が私のクラスに来た。約2年間教えた。やさしい感じの青年だった。プロゴルファーだったが21歳で超美人の奥さんをもらった。その後頭角を現し、アメリカに渡り大活躍をした。ゴルフファンなら記憶にあるだろうが、マッチプレーであのタイガーウッズに2度も勝ったのは彼だけである。それから「タイガーキラー」と呼ばれるようになった。一時は世界ランキングのかなり上位まで来ていたのだが体調を崩し、その後低迷した（それでも毎年1億円程度は稼いでいる）。昨年末から復活基調にあり、1月現在の世界ランキングは138位である。今年は100位以内まで戻ってくるものと期待している。

英語と日本語をエクスチェンジしていたアイルランド人がいた。ある荒れた天気の日にやって来たので「今日はお天気が悪くて…」と私が言うと「いやいや、ラブリー！」と嬉（うれ）しそうに言う。彼の故郷のアイルランドでは、雨風の強いこんな日が多いという。このような気象もラブリーと考えれば、どんな日であっても、気持ちの持ち方次第ではラブリーな気分でいられるのだなと、彼から教えられた気がした。

ついでに言うならば、O'Hernのような綴（つづ）りになるのはアイルランド南部地方の人名で、O'となる場合は、土地の名士であった名残でもあるらしい。有名な人では劇作家のユージン・オニール、女流作家のフラナリ・オコナー、荒野の風景画で有名な女流画家のジョージア・オキーフ、女優のマーガレット・オブライエンやモーリン・オハラ、「風と共に去りぬ」のヒロインとして多くの人の記憶に残っているスカーレット・オハラもいる（演じたのはあの大女優ヴィヴィアン・リー）。ついでに言えば、スコットランドでは、「誰々の息子」という名も多い。ドナルドの息子（マックドナルド）、女王の息子（マッククイーン）などである。有名人からそんな名を探し出すと楽しいものだ。

アイルランド系の大統領

アイルランドはカソリック国なので、子沢山で知られている。本国のアイルランドには数百万人しかいないのに、移民先のアメリカでは数千万人もいるほどに人口を増やしている。

貧しいアイルランドから移民した子孫からアメリカ大統領になった人がいる。彼はカソリック教徒から出た最初の大統領でもあった。ジョン・F・ケネディ大統領である。その後第40代大統領にレーガンが選ばれている。彼の場合は父がアイルランド人、母はスコットランド人だった。

堂々と物乞い

話がそれたが、ダブリンに着いて最初に驚いたのは物乞いの多いことだった。道路に10人ほどが缶を持って座っている。その態度には物乞いをする人特有の悲しげな様子もないし、卑下をうかがわせる風もない。堂々と物乞いをしている姿に驚いた。首都のど真ん中でどうしてこんなことが許されるのだろうかと思った。

あとで分かったことだが、カソリック教では、持っている人が貧しい人に分け与えるのは正しいこととなっている。だから貧しい者が、物持ちから分け与えてもらうのは当然であって卑しいことではないという考え方が根っこにあるようなのだ。しばらく見ていると、市の職員のような人が、山ほど品物を抱えてきて彼らに分け与えると、彼らは静かにどこかに消えてしまった。

ダブリンからバスはアイルランド島を一周する旅へと出発する。もちろん北アイルランドは抵抗運動の激しい時代だったので、予定には入っていなかった。

風水師 ラニーの12支占い
2012年2月の運勢

ラッキーカラー ★ラッキーアイテム

子 ダークブルー ★枝豆
セール中のバッグがお得だと思って買ってきたら気付かない所が汚れていたり、友人にご馳走してもらったらお腹を壊したりして、「得」の後に「損」がついて来そうな今月。計算せずに堅実にやっていくと吉。

丑 ブラウン ★ヨガマット
仕事を上司に評価され、昇進、昇給のチャンスがありそう。いつもそばで支えてくれているパートナーを食事に連れて行ってあげたり、プレゼントをしたりして、感謝の気持ちを形にしましょう。

寅 ピンク ★ゴーヤ
転職を考えている方にはビッグチャンスが訪れる予感。お世話になっていた学生時代の恩師や、親戚のおじさんおばさんたちに連絡してみましょう。思いがけない所から良い話が転がり込むかも。

卯 赤 ★キムチ
どんなに嫌な時でも手抜きせずに仕事をしてきた貴方にチャンス到来！　頼まれる仕事も増えるでしょうが、ただ、頑張りすぎるとストレスによる胃痛が起こりますので、自分の限界を知ったうえで成果を出しましょう。

辰 黒 ★海
今月は金運が上昇しますので、増えた分の収入で周りの人たちを幸せにしてあげましょう。チャリティー活動に参加したり、友人にご馳走してあげたりするのが◎。ただ、経済力を誇示するような軽薄な行為は慎むこと。

巳 ベージュ色 ★テレビ
人間関係でストレスが溜まりそうな今月。気分が晴れない時は、幼馴染みや学生時代の友人と連絡を取ると吉。ありのままの貴方を受け入れてくれる大切な友人たちに思いっ切り甘えてみましょう。

午 水色 ★ミネラルウォーター
興味本位でゴルフを観に行ったらボールが直撃したり、子供と一緒に砂遊びをしに海に行ったら溺れたりして、運が悪いとしか言いようがないハプニングが多発しそう。休日は出かけずに家でのんびりしましょう。

未 黄色 ★本
いつも心配してくれている両親に連絡しましたか？　会えなくても電話や手紙などで気持ちを伝えたり、近況報告をしてあげたりしましょう。里帰りを考えている人は早速行動に移るのが◎。

申 紫 ★ワイン
怪我に金欠、更に誰かに陰で悪口を言いふらされる可能性もありますので、今月の運勢はまさに最悪。新しいことを始めるのは控えて、「目立たず、挫（くじ）けず」をモットーに慎んで過ごしましょう。

酉 ワインレッド ★花
貴方に嫉妬する人が現れる予感。嫌がらせをされたりして腹が立つでしょうが、気にしないようにすれば敵が自然に消えていきます。また、日頃の努力が報われ、いつもより仕事のやりがいを感じられるでしょう。

戌 緑 ★ヨーグルト
今月は出会いが多く、異性との縁もあります。モテモテでつい良い気になりがちですが、パートナーのいる方は、相手の気持ちを考えてから行動しましょう。大切な人を傷付けないように気を付けましょうね。

亥 グレー ★トマト
今月のキーワードは、「仲間との食事会」です。普段連絡を取っていない友人を食事に誘うと吉。週末はパーティーを開いたりして、友達とワイワイして過ごしましょう！　素敵な出会いもありそうです。

プロフィール：ラニー　チャン
筑波大学卒。世界的に有名な占術家・柴名達に師事し、中国皇室占術を学ぶ。風水、運勢鑑定を中心とする占術活動に従事し、数多くの新聞、ウエブサイトにてコラムを執筆中。また、50軒以上の住宅や店舗の運勢を改善し、個人鑑定、風水鑑定受け付け中。
TEL：0430160525　Email: ragny.zhang@gmail.com

連載

ふしぎな動物

Part 71 「オオコウモリ」

元・天王寺動物園長 中川 哲男（なかがわ てつお）

人工哺育したインドオオコウモリ（大阪・みさき公園）

シドニーの中心街に隣接する王立植物園で高木に群がるハイガシラオオコウモリ

コウモリは立てるか

ふと、コウモリはどうして立てないかと考えてみました。飛ぶための揚力を生み出すために長細くて軽い骨と広くて薄い飛膜を設け、より体を軽くするため内臓も小さく簡素化し、掴（つか）み握りできるだけの足の機能しか持たされてないのではと思います。

例えば、立っている姿を想像すると両手の指に広がる飛膜を上手に畳んでも、上腕や前腕より指が異常に長く、邪魔になって地面をこするのではないかと思われます。動物園のルーセットオオコウモリを見ていると、エサの果実を取る時や地面に下りた時は這（は）いつくばった形で、およそコウモリに似つかわしくない哀れな姿です。コウモリの後肢は弱く、本来的に立てるような構造ではないようです。地面へ下りた時は前肢の親指と後肢で這うように前進します。

コウモリは空中で生活できるように適応した動物です。歩くのは不得手で静止する時、休む時は後肢で枝や岩角などを掴み、逆さになって休みます。排尿排便の際は逆に前肢の鈎爪（かぎづめ）のような親指をフックにして枝などにかけ、頭をあげて正常な位置で排尿排便をします。

不器用に這いつくばった
エジプトルーセットオオコウモリ（天王寺動物園）

インドオオコウモリの人工哺育

今から30年前に、みさき公園でインドオオコウモリの繁殖が続きました。そのうちの1例で母親の育児放棄で人工哺育されたものがいました。

生まれた赤ちゃんは体重が56g（成獣で500～600g）で本来なら母親に抱かれるはずでしたが、それが叶（かな）わず、補う形でタオルを小さく丸めたものをぶら下げ、それにしがみつかせるようにしました。哺乳も母親のお乳が取れないので、イヌの人工乳を使って1日5～7回、注射器で哺乳をしました。ただ問題なのは排尿排便の際、自分の体を汚すことでした。通常は母親が舐（な）め取ってやるか、排泄（はいせつ）姿勢を取らせるのでしょうが、赤ちゃんひとりのため汚れるたびに飼育係が拭（ふ）き取りました。ようやく成獣のように排泄物を体に付けない姿勢が取れるようになったのは生後42日目頃だったといいます。

この個体は生後25日目からバナナを与え始め、175日目に離乳しました。飛翔（ひしょう）は125日目ぐらいから飼育係のほうに飛んでくるようになり、まるで手乗りのオオコウモリだったといいます。

コウモリを観察する

動物園の夜行性動物舎で入園客のコウモリに対する声を拾ってみると「かわいい」という声はごくまれで、若い子は「きもい」なんて言います。コウモリに対する日本人のイメージは暗くて、不気味で、陰気で、気持ち悪いというのが通り相場のようです。しかし、オオコウモリは顔付きがキツネに似ているため「flying fox」などといわれ、花や果実を好むおとなしい動物です。また、人工哺育すると人によく馴（な）れ、自在に空中飛行を見せてくれる一面もあります。オオコウモリは視覚に頼るため目も大きく、ほかの食虫性の強い小型のコウモリが行う超音波を放つ「反響定位測定（エコロケーション）」は一部を除いてほとんど行いません。

インドオオコウモリの片翼の開帳―片翼55cmほど
（大阪・みさき公園）

動物園のオオコウモリを時間をかけて見てみると、いろいろな発見があります。排尿排便の仕方、エサの採食の仕方、羽ばたきの姿勢など、なによりも哺乳類の中で唯一、鳥と同様に羽ばたくことが可能で（ムササビやヒヨケザルは滑空するだけ）遠距離を飛ぶことができるというコウモリだけに与えられた特技があります。カメラでストロボを照射せず、感度を上げて高速連続写真で撮ってみると、鳥の羽ばたきとは違った複雑な翼の動きが写っていることでしょう。

エジプトルーセットオオコウモリの骨格標本
（天王寺動物園）

大都会にも進出

2005年11月にオーストラリアの動物園巡りでシドニーへ行った時のこと、シドニーのオフィス街を抜け、王立植物園を散策していると夥（おびただ）しい数のオオコウモリを発見し、写真に収めました。緯度的には大阪と変わらないぐらい（シドニー南緯34度・大阪北緯35度）なのに、なぜオオコウモリ（後年、インターネットで調べるとハイガシラオオコウモリ〔大沢夕志〕）がいるのか不思議でした。オフィス街に隣接して広大な緑地森林帯があり、エサになる果実が豊富にあり、ねぐらや繁殖に適した環境があるからだと思われます。また、シドニーは東オーストラリア海流（北から南下する暖流）の影響で真冬でも10度を切ることがまれということも生息に幸いしているのかもしれません。

Girl Playing with a Cat (*Neko to asobu musume*)
Series: Untitled series of women reflected in mirrors (*Kyōmen*)
This series depicts the reflections of beautiful women of various expressions. This merchant's daughter is playing with her cat, making it dance in the mirror.
Kuniyoshi: Spectacular Ukiyo-e Imagination
17 December 2011 –17 January 2012

Singing 'Bonbon' Song (*Bonbon*)
Series: Set of Goldfish (*Kingyo zukushi*)
This print, first discovered in Italy and now coming home to Japan, is from Kuniyoshi's goldfish caricature series. With its clever anthropomorphism and dim atmosphere, it is renowned as one of his masterpieces. 'Bonbon' is a game once played by children, in which they joined hands and sand while walking their neighbourhoods.
Kuniyoshi: Spectacular Ukiyo-e Imagination
19 January –12 February, 2012

Sakata Kaidō-maru
This crimson-red boy is Kintarō, the mighty hero of fairy stories. It being said that carp climb waterfalls to become dragons, this print depicts the young forms of the future hero and mythical beast.
Kuniyoshi: Spectacular Ukiyo-e Imagination
17 December 2011 –17 January 2012

O-kane, heroine of Ōmi (*Ōmi no kuni no yūfu o-kane*)
O-kane was a mighty harlot in Ōmi in the early Kamakura Period. Here she is stepping on the reins of a runaway horse to calm it. The horse and the background are drawn in a Western style, giving the image a quite curious feel.

check it out!

by Wallaby You

JAPLISH　和製英語

'Japlish' (*wasei-eigo*) refers to ostensibly English words and phrases that have actually been coined in Japan, and are now used there on a daily basis. Much Japlish does not actually come from English, or, even if it does, bears a meaning quite different to that of the 'original'.

To a native speaker, such coinages seem unfamiliar and peculiar. Many Japanese, however, use them on the assumption that they are 'genuine English', and accidentally throw Japlish in when they happen to be conversing with a native speaker of the language. Here are some examples.

Commonly misinterpreted Japlish

Japlish	English meaning	Japanese meaning
almighty (*ōrumaitii*)	omnipotent	can do or be used for anything
claim (*kurēmu*)	demand, request	(official) complaint
consent (*consento*)	agreement	electric socket, outlet (from 'concentric plug')
smart (*smāto*)	intelligent	thin, slim
feminist (*feminisuto*)	advocate of equal rights and opportunities (for women)	chivalrous, gallant
naïve (*naību*)	unsophisticated, lacking experience	sensitive, delicate
mania (*mania*)	craze	enthusiast, buff
mansion (*manshon*)	grand house	medium- to high-rise apartment
rinse (*rinsu*)	wash lightly	hair conditioner

Japlish is a real problem for students of English, who sometimes first realise that a word is in fact Japlish when the person with whom they are speaking can't understand them. If you come across someone using Japlish in an English conversation, make sure to point it out to the person so they realise the error of their ways!

発音に細心の注意を払い、知り得る単語を駆使して一生懸命話しているのに、なぜか伝わらないってことありますよね。原因はもしかしたら、あなたが使っているその「和製英語」かもしれません。

日本に溢（あふ）れている「英語のようなことば」の多くは英語ではなかったり、英語であっても英語本来の意味とは異なるものがとても多いのです。

通じないだけならまだしも、相手の失笑を買うような「和製英語」は、その正しい意味を知っておく必要がありそうです。

今回は、私たちがつい使ってしまいそうな例をいくつか挙げておきましょう。

意味の異なる「和製英語」

和製英語	日本語	英語	正しい英語
オールマイティー	なんでも良くできる	全能の神	can do anything
クレーム	苦情	請求、要求	complaint
コンセント	差し込み口	同意、承諾	electric socket
スマート	スリム	賢い、機敏な	thin, slim
フェミニスト	女性を大切にする男性	女性解放論者、男女同権論者	chivalrous, gallant
ナイーブ	繊細な、純粋で傷つきやすい	世間知らず	sensitive
マニア	熱狂的な愛好家	躁（そう）病、熱狂	enthusiast
マンション	中・高層の集合住宅	大邸宅	apartment
リンス	リンス	すすぐこと	hair conditioner

英語には存在しない「和製英語」

アフターサービス→ customer service
イメージアップ→ improve one's image
オイルショック→ oil crisis, energy crisis
ガソリンスタンド→ petrol station
キーホルダー→ key ring
グレードアップ→ upgrade
コインランドリー→ launderette, Laundromat（商標）
シャープペンシル→ mechanical pencil
プラスアルファ→ additional value
ノートパソコン→ laptop
リサイクルショップ→ second-hand shop
ロスタイム→ additional time
ワンパターン→ manneristic

正確な意思疎通のために、ぜひ正しい言い回しを知っておきたいものです。

Roselle Hair Lounge
デジタルパーマ・縮毛矯正承ります

Mon:10-6 Tues:Closed Weds:10-6
Thurs:10-6 Fri:10-8 Sat:10-5 Sun:12-5
Shop 1, 448 Murray Street Perth WA 6000
TEL : 08-9321-3448
(Murray st.とMilligan st.角にあるFast Eddys cafeのとなり)

BRILLIANT HAIR
TOKYO STYLE
SHISEIDO PROFESSIONAL

火～金 10am - 6pm
土 9am - 5pm
日 11am - 4pm
(by appointment)
休業：月曜日、祭日
Shop10, 1 Forrest St SUBIACO
(08) 9388-1452 予約制

日本人スタイリスト経営の美容室
日本製の薬品使用
hair plus
夏はパーマがお手入れ簡単
動きのある毛先でアレンジもしやすくおススメです！

502 Murray St. Perth 08 9322 5996 (0411 272 515)
Tue - Sun 10am - 6pm（予約制）

IN JAPAN

from page 14

Still innovative after 150 years: the fantastic ideas of Kuniyoshi Utagawa

A vision of today, depicted 180 years ago?

Kuniyoshi's "Edo sandbank" (*Tōto mitsumata no zu*) illustrates the serene landscape of Edo's Sumida River, beneath billowing smoke. In the distance soars a building strikingly similar to the present-day Tokyo Sky Tree. If you stand in the spot depicted in the print today, you will see an almost identical scene.

While some say the building is a turret above a well, it does seem as if Kuniyoshi Utagawa was somehow able to predict the future in this print. Even the towers at the right of the image bring to mind the skyscrapers of modern Tokyo.

Another example is "Banks of the Onmaya River in Edo" (*Tōto Onmaya-gashi no zu*), in which a figure nonchalantly holds an umbrella imprinted with the mysterious number 1861. As it happens, 1861 was the year of Kuniyoshi's death. Had he foreseen his own future?

Edo sandbank (*Tōto mitsumata no zu*)
This print depicts the serene atmosphere of the Sumida River, with clam fishers and their boats. In the foreground are two workers smoking out the base of their boat. And beyond the river is...

Banks of the Onmaya River in Edo
(*Tōto Onmaya-gashi no zu*)
One can almost hear the pounding rain in this scene of an evening shower. While three men huddle beneath a single umbrella, the eel-catcher in the centre of the picture seems to have given up on shielding himself from the rain. To the right is a man holding enough umbrellas for a number of people. On his own umbrella, a mysterious number...

Self-portrait
All the self-portraits left by Kuniyoshi are rear aspects; he never drew his own face. As these works suggest, he was a dyed-in-the-wool Edo artisan.

He looks fierce but he's a really great man
(*Mikake wa kowai ga tonda ii hito da*)
Naked men press their bodies together to create a face. The accompanying script roughly reads: "Many people came together to finally make up a good person. After all, it is only people that can understand the problems of other people."
Kuniyoshi: Spectacular Ukiyo-e Imagination
17 December 2011 –12 February 2012

Asahina playing in the Island of Dwarfs (*Asahina kobito-jima asobi*)
The mighty Asahina visits the Island of Dwarfs. Lying his massive body on its side, a smile floats across his face as he observes the procession of lords.
Kuniyoshi: Spectacular Ukiyo-e Imagination
19 January –12 February, 2012

Set of dyes
(*Some-iro zukushi*)
This print depicts all kinds of animals dyeing fabric at the waterside. Each animal is crafting a colour and pattern suited to itself.

NEW「ありがたや」誕生 !!!

パース「ありがたや」は、お陰を持ちまして、本年３周年を迎えることになりました。これも皆様のご愛顧の賜物と大変感謝しております。

この度、メインシェフとして原田宜明を迎え、才気あふれるオリジナル中華料理やラーメンの数々でメニューを一新。NEW「ありがたや」として、ここでなくては味わえない、贅を尽くした料理をお楽しみいただけます。

また、味の決め手でもある厳選の食材による美容 (コラーゲン等) と健康 (野菜入り麺) をテーマに、廉価ながらも格別の旨さを追求。オーストラリアで一番旨いラーメン店として、お客様の舌を満足させ、お腹と心を満たしてまいります。

月～土　11:30～14:00 & 17:30～21:30
日、祝日　11:30～14:00 & 17:30～21:00
定休日　火曜日
62 Roe Street Northbridge WA 6003
TEL : (08) 9227 7901

IN JAPAN Red-hot topics from JAPAN

Still innovative after 150 years: the fantastic ideas of Kuniyoshi Utagawa

歌川国芳

Kuniyoshi Utagawa (1798-1861) was an ukiyo-e master synonymous with Edo, as Tokyo was once known. He rose to prominence at the time of the blossoming of popular culture in the late Edo Period. With his boundless imagination, innovative designs, totally unexpected concepts and indisputable gift for drawing, he produced an enormous number of works of broad appeal and which transcended the ukiyo-e paradigm.

Despite Kuniyoshi's terrific talent, he had been somewhat forgotten, overshadowed by other brilliant artists such as Hiroshige Ukagawa, Hokusai Katsushika and Utamaro Kitagawa. In the late 20th century, however, his artistic contributions garnered attention outside Japan and, upon re-evaluation, the amazing nature of his works has become clear.

Kuniyoshi left a massive number of works across all genres, including prints of erotic *shunga*, beautiful women, kabuki actors, landscapes, warriors and satire. When works depicting beautiful women and actors were prohibited in the Tenpō reforms, Kuniyoshi became only more prolific. His anthropomorphised animals identically replicated the expressions and behaviour of the people of Edo. Not solely comical, they captured the peculiar Edo resentment towards authority.

In an age of confinement, Kuniyoshi gave the common people of Edo courage and humour through his ukiyo-e, crafted with an unendingly rebellious spirit and fantastic ideas. While 2011 marked the 150th anniversary of his death, there is no doubt that his unprecedented lifestyle and imagination continue to bring us vitality even today. This month we feature a number of his works.

Kuniyoshi Utagawa Exhibition: 150 years on

The Mori Arts Center Gallery in Tokyo's Roppongi Hills is currently holding an exhibition to mark the 150th anniversary of Kuniyoshi's death. Around 420 works will be on display, from his best-known prints to newly discovered pieces. The exhibition will be both a homecoming for a number of works first discovered outside Japan, and the inaugural display of certain masterpieces of Kuniyoshi, an unrivalled cat lover. It is sure to be an invaluable opportunity to fully appreciate the appeal of his art.

at Mori Arts Center Gallery
until Sunday, 12 February 2012

http://kuniyoshi.exhn.jp/english.html

Continued on pages 12 and 13

JA NEWS おすすめ！ ピナクルズ・サンセット・ツアー

色々付いてとってもお得な $198!

西オーストラリアを代表する自然の造形美「ピナクルズ」でのサンセットを体験するツアーです。地球が創り出した奇岩群が夕陽に染まる姿は一生の想い出として目に焼き付くに違いありません。
この奇岩群のサンセットを見るために「泊まりがけで行くにはちょっと」「帰りの夜道の運転が心配」などという方には最適です。往路ではオリーブファーム、ハニーファクトリーにも立ち寄り、夕食はピナクルズ近くの漁師町セルバンテスのレストランで。
夕食後は天候に恵まれれば星空観測にもご案内。星座盤（日本語）を参加者全員にプレゼントしますので、満天の星空の下、南半球の星座をお楽しみください。
なお、当ツアーは経験豊かな日本人ドライバーガイドがご案内します。

▲オリーブファーム

▲ハニーファクトリー

▲星座盤

催行日：2012年 2月4日（土）、11日（土）、18日（土）、25日（土）、3月3日（土） 雨天決行

集合／解散場所：Wellington Street Coach Stand（ツアーバス停留所）
Burswood Dome 横　駐車場
集合時間：Wellington Street　午後 12 時 15 分
Burswood Dome　午後 12 時 30 分
帰着時間：午後 10 時 30 分（予定）
料金：お 1 人様　$198
催行人数：最少 6 名
申込締切：催行日の 3 日前（各週水曜日）
催行：d.o.a. Australia Pty Ltd (LIC 2TA6090)

お問い合わせ／ご予約（日本語で承ります）
d.o.a Australia Pty Ltd
月～金 9:00 ～ 18:00 TEL (08) 08-9221-9033
土日・時間外 TEL 0420-293-060
per@doa.com.au

人数には限りがございますので早めのご予約をお勧めします。
含まれるもの　：日本語ガイド、夕食（スープ、肉または魚料理［ポテト添え］、パン、デザート）、観測用星座盤
含まれないもの：ご自宅から集合・解散地点までの交通費、追加飲食、試飲・試食などオプション的性質の諸費用

夜明けのスキャット、再び
由紀さおりさんCDが人気

【1月4日共同】

歌手の由紀さおりさんが米国のジャズオーケストラ「ピンク・マルティーニ」と録音したアルバム「1969」がじわじわとチャートを上昇し、ヒットを続けている。海外公演も成功。デビュー40年を超えるベテランの国際的なヒットに、本人も「びっくりしちゃう」と話している。

▽米ジャズ部門1位

国内発売は10月12日。米音楽配信サイト「アイチューンズ・ストア」で配信が始まった翌日の11月2日分のジャズ部門チャートで1位を獲得し、それが報道されると国内でも火が付いた。音楽情報会社オリコン調べの12月26日付国内アルバムチャートの4位に入った。

英国のロイヤル・アルバート・ホールをはじめ、欧米で開かれたピンク・マルティーニのツアーにも参加し、各地で喝采を浴びた。

「チャート何位とかは40年ぶり」と由紀さん。収録した12曲は1969年のヒット曲。自身の「夜明けのスキャット」やいしだあゆみさんの「ブルー・ライト・ヨコハマ」など、筒美京平さん、いずみたくさん、三木たかしさんら、ヒットメーカーの曲が並ぶ。若い人でもどこかで耳にしたメロディーが多いはずだ。

「歌い手ではない音楽の職人が作った曲に歌詞。その良さにも気付いてほしい」

▽出会いは中古盤

ピンク・マルティーニは、米オレゴン州ポートランドを拠点にする94年結成のバンド。中心メンバーで自称「大衆音楽の考古学者」というピアノ奏者トーマス・ローダーデールさんがポートランドの中古レコード店にあった由紀さんのレコードを偶然見つけ、ジャケットの美しさに引かれて〝ジャケ買い〟したのが始まりだった。

その歌声にほれ込んだローダーデールさんがアプローチし、ライブでの共演が実現。意気投合しアルバムを作ることに。

「本当にすてきな音に仕上がったから、思わず『You for and me（あなたが私をみつけたのよ）』って言ったの」と由紀さん。

▽歌声に安心感

懐メロというだけなら、昔の録音をたくさん収録した歌謡曲のCDが、より安価に手に入る。なぜ「1969」が注目されるのだろうか。

「米国でヒット」という報道でアルバムを知った人も多いだろうと指摘しながら「バンドの演奏は割とオーソドックス。このアルバムの魅力は由紀さんの歌声だと思う」と話すのはジャズ評論家の行田よしおさん。

歌声については「由紀さんのキーは69年当時より低い。年齢を重ねると高音を出すのは難しくなるが、高い音を多用する最近のヒット曲についていけない中高年に、その自然な歌声がかえって安心感を与えるのではないか」と分析している。

自分の問題として「表現」
未来の民主主義に影響

【1月11日共同】

東京を中心に各地で行われる脱原発デモは、震災後のこの国の街に定着しつつある、最も大きな変化かもしれない。多くのデモに参加してきた作家の雨宮処凛さんと、デモ隊が繰り出した東京の街を歩いた。

× ×

年の瀬が近づく昨年12月の週末、東京・渋谷。3・11以降、デモへの参加は16回目という雨宮さんが白い息を吐きながら言う。「思い起こすと、私が初めて『NO NUKES』の横断幕を掲げてデモをしたのは2003年のイラクなんです」。湾岸戦争で使われた劣化ウラン弾の被害を知り、バグダッドで訴えた反戦・反核。「でもそれから原発事故が起こるまで何もしてこなかった。その反省が猛烈にあって」

参加者は200人ほど。万単位の人が集まった春から秋にかけての大規模デモに比べると数は少ない。「4月以降、参加者がすごい勢いでノウハウを伝え合い、それぞれ自分でデモを主催するようになったのが大きい」と雨宮さん。「主催者が多くなれば、場所も来る人も変わる。裾野がアメーバ状に広がっていて、誰も全体を把握できないのが現状です」

風船を手にした若い女性、幼い子を抱き無言で歩く父親、防護服の男性、激しく打ち鳴らすドラム隊…。ひときわ目立つ、かっぽう着姿でしゃもじを掲げる女性たちがいた。仕事をしながら、子育てや家事をこなしてきた50代の「主婦」ユニット、その名も「Okan Do—Zine（オカンドウジン）」だ。

「これまでのデモは敷居が高かった。だから『おかんもいるからみんな来て』と」。メンバーの安藤リケット玲さんが笑う。小塚類子さんは「この格好は『アイコン』。同じ心配を抱えるママさんが声を掛けてくれる。次はその人たちが横につながってくれたら」。

彼女たちは昨夏、自主制作の冊子「原子力のない暮しの手帖」を刊行した。「台所はもはや放射能と闘う最前線になった」という言葉とともに国への情報開示などを求める声明が記される。最後の一文は「そんでさ～、原発の話しちゃいけないムードなんとかなんないの？奥さん」。

ユーモアに包んだ言葉が映し出す、日本を覆う空気。今いる場所から発したメッセージは「核心を突いている」と雨宮さん。参加者の服装やプラカードにはそれぞれ趣向を凝らした「表現」があふれている。原発問題が自分の問題として、個々の意思表示と結び付いていることの証左だろう。

沿道の反応はさまざまだ。手を振る人、一瞥して先を急ぐ人。雨宮さんは以前、沿道の男性から「原発がなくなったら、電気はどうする」と怒鳴られた。「でも、その路上での化学変化がデモをやる一番の意味。デモを見ることで数万人が数秒でも原発のことを考える。罵倒だって、究極のコミュニケーションです」

デモで世の中が変わるのか—。デモの盛り上がりとともに繰り返された問いだ。約1時間のデモを終えた雨宮さんはその問いに「直接的な効果以上に、10年、20年後を考えているんです」と答えた。「若い人たちが自分で考えて、デモに参加し、主催していることは、未来の日本の民主主義の在り方に大きな影響を与える。受動的ではなく、能動的に政治や社会に関わることの大切さを今、多くの人が実感しているから」

外国人旅行者は乗り放題
中日本高速、観光振興で

【1月19日共同】

中日本高速道路（名古屋市）の金子剛一会長兼社長は19日、名古屋市で記者会見し、外国人旅行者向けに管内の一部高速道路を定額料金で最大7日間乗り放題になるパスを発売すると発表した。3月21日から6月30日まで利用できる。外国人旅行者を呼び込み、観光振興につなげたい考え。

岐阜県と連携した取り組みで、外国人旅行者を対象とした高速道路の定額料金サービスは、本州で初めてという。

中部国際空港のトヨタレンタリース愛知の店舗が提供するレンタカーを使ってもらう。価格は長野県に至る日本アルプスルートで7千円、富山県や滋賀県に至る日本海ルートで9千円。2月22日から受け付ける。

金子氏は新東名高速道路の用地買収に絡む元社員の所得税法違反事件にも触れ、「公判や社内の調査委員会の調査結果がまとまり次第、関係者の処分や再発防止策を明らかにしたい」と述べた。

新東名高速道路の御殿場、三ケ日の両ジャンクション（いずれも静岡県）間の具体的な開通時期については、関係機関と協議し、来月中をめどに正式に発表するとした。

<Contributed Article>

Looking Glass

'Genki' by Haiiro Gray

One thing that seems to stumble many people in Australia is the small talk. The question is often asked " how are you?", a very open ended question that invites somebody to tell their life story, a question that is actually quite hard to shoulder off. The reply requires more than just one word and there is an infinite number of answers to this seemingly simple question.

'*Genki*' on the other hand is more like asking, "are you well?". Semantically it is the same, however is only asked when a reply is really expected. Shop assistants and acquaintances seldom ask this question. Now, one can be extremely creative in their replies but ultimately it is a yes or no answer where 90% of the time the asker will expect a simple yes. What if the weather was too hot and I want to complain about it? What if I just won the lottery? The level of my well being cannot be expressed with a yes or no answer.

In our busy lives, do we really care? Is there even a need for such dialog? Pragmatically, probably not. When I go buy my groceries at Woolworths and the checkout girl asks me how my day is, I can simply ignore her and she couldn't care less. I go home quicker, save 5 seconds of my life and who cares right? They've taken it further by removing the checkout chick and having self checkout these days. But it is situations like these that make it all the little bit weirder to talk to that other person waiting for 45 minutes at the bus stop on a Sunday. It's just not in people's comfort zone to talk to each other anymore, unless they have 'mutual friends'. What happen to the days where you could just talk to somebody to pass time and leave it as that?

Just by striking a conversation with somebody, you now become some sort of villain; you're not supposed to talk to humans anymore. Now, the last time I met somebody they asked me for my full name so they can run some sort of background check on me via Facebook, ie "becoming friends", because apparently we are not friends unless Facebook confirms it.

Maybe the Japanese language has got it right. When we meet somebody, why ask a questions when we don't expect an answer, which is may be why *Genkidesuka* is something only used in textbooks, (so it seems). That's why when we call somebody on the phone and they ask "how are you?" there is that awkward pause as we actually have to think of an answer. But as we evolve into robots, many of us already have pre-programmed responses.

English is a very expressive language, so why are we expressing things only on walls? Don't take my word for it, ask any Japanese to translate the phrase "I'm comfortable" and time how long it takes.

So to wrap up, how are you? I mean really?

本格串焼きレストラン

純

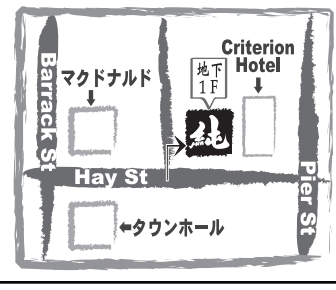
Restaurant JUN

各種宴会、パーティーの予約を承っております。

営業時間 月～金：12:00pm - 2:30pm
月～土： 6:00pm - 10:00pm

568（地下）Hay Street, Perth, WA 6000

ご予約は 9221-3339 まで BYO



イベント情報

コンサート

■ Seal
２月 12 日（日）午後５時
Sandalford Estate：3210 West Swan Rd, Caversham
感情的でロマンティックなラブソングからポップな音楽まで、幅広い歌唱力で世界中の観客を魅了するイギリス出身のソウルミュージシャン、シール。グラミー賞を受賞した「キス・フロム・ア・ローズ」や「キラー」「クレイジー」を熱唱。
料金：＄119.90 ～＄299.90
チケット：Ticketek

■ Jonathan Butler
２月 18 日（土）午後８時
Riverside Theatre, Perth Convention and Exhibition Centre：21 Mounts Bay Rd, Perth
南アフリカ出身のギタリスト・歌手、ジョナサン・バトラー。アパルトヘイト政策下の南アで育ち、デビューシングルが黒人としては初めて国内のラジオ局でオンエアされた。グラミー賞にノミネートされた「ライズ」などを披露。
料金：＄75 ～＄99
チケット：Ticketek

■ Chopin & Mendelssohn's Octet
２月 22 日（水）午後７時 30 分
Perth Concert Hall：5 St Georges Tce, Perth
ピアニスト、ポリーナ・レスチェンコとオーストラリア室内管弦楽団による演奏。演目はパガニーニの「24 の奇想曲」、ショパンのピアノ協奏曲第１番、グレツキのピアノ協奏曲、メンデルスゾーンの弦楽八重奏曲など。
料金：一般＄49 ～＄89、コンセッション・学生＄42 ～＄76、30 歳未満＄45
チケット：BOCS

■ IL Divo
２月 23 日（木）午後４時 30 分
Kings Park：Fraser Ave, West Perth
イギリスで結成されたスペイン・スイス・フランス・アメリカ出身の４人組ヴォーカルグループ、イル・ディーヴォのオーストラリアツアー。ポップス曲をオペラ風にアレンジした美しく力強い歌声で観客を魅了する。
料金：＄119.90 ～＄395
チケット：Ticketmaster

■ A Summer Night with Olivia Newton-John and WASO
２月 24 日（金）＆ 25 日（土）午後８時
Burswood Theatre：Great Eastern Hwy, Burswood
オーストラリア育ちの歌手オリビア・ニュートン＝ジョンと西オーストラリア交響楽団（WASO）の共演。映画「グリース」のサントラ曲「想い出のサマー・ナイツ」をはじめ「フィジカル」「そよ風の誘惑」などヒット曲の数々を披露する。
料金：＄115.85 ～＄295
チケット：Ticketek

ART GALLERY OF WESTERN AUSTRALIA
西オーストラリア州立美術館

日本語で無料案内
が受けられます。

西オーストラリア州立美術館では
美術館を訪れる人々に
展示品の案内を行っています。

オーストラリア先住民による美術 (Aboriginal Art) や、歴史ある警察法廷を展示場にしたセンテナリー・ギャラリー(Centenery Galleries) が隣接する同美術館ではオーストラリアの著名な画家が描く広大な大地の風景画が、西オーストラリア州を訪れる観光客に深い印象を与えています。

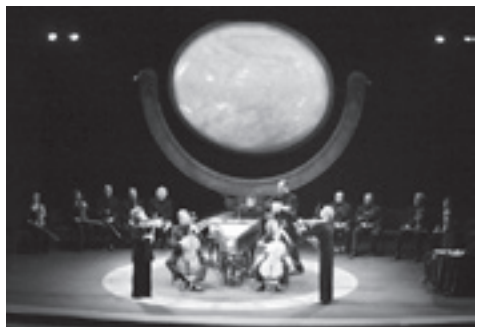
人数の多少に拘らず受付けておりますので
日本語でお気軽にお問い合わせ下さい。

場　　所：Perth Cultural Centre, James St Mall, PERTH,W.A.
開館時間：月水木金土日 午前10時～午後５時
休 館 日：火曜日
入 館 料：無料（但し、特別催物は除く）
ガイド料：無料
所要時間：約１時間

ボランタリー・ガイド（要予約：前日まで）
ヒリアード あつ子　☎ 0419-196-825
ホスグッド 美知子　☎ 0410-382-326

■ Russell Watson：La Voce
２月 28 日（火）午後８時
Burswood Theatre：Great Eastern Hwy, Burswood
イギリスのテノール・ポップス歌手、ラッセル・ワトソン。脳腫瘍を乗り越えて新境地を開いた彼が、さらに太く張りのある声で、最新アルバム「ラ・ヴォーチェ」を歌い上げる。
料金：＄110 ～＄199.90
チケット：Ticketek

■ Tafelmusik・The Galileo Project：Music of the Spheres
３月１日（木）午後７時 30 分
Perth Concert Hall：5 St Georges Tce, Perth
カナダを本拠に活動する古楽器オーケストラ、ターフェルムジークによるコンサート「ガリレオ・プロジェクト：天球の音楽」。ハッブル宇宙望遠鏡が撮影した映像を背景にヴィヴァルディ、モンテヴェルディ、バッハなどの曲を演奏し、聴衆を宇宙の旅へといざなう。
料金：一般＄42 ～＄90、コンセッション・学生＄37 ～＄78、30 歳未満＄30
チケット：BOCS



■ Taylor Swift：Speak Now World Tour
３月２日（金）午後７時 30 分
Burswood Dome：Great Eastern Hwy, Burswood
10 代を中心に若者から人気が高く、今最も注目を浴びているアメリカのカントリー・ミュージック歌手、テイラー・スウィフト。ギター、バンジョー、ウクレレやピアノを使って大ヒット中のアルバム「スピーク・ナウ」を熱演。
料金：＄112.70 ～＄142.70
チケット：Ticketek

■ Future Music Festival
３月４日（日）正午
Arena Joondalup：Kennedy Dr, Joondalup
世界の一流バンドと DJ が集まる音楽フェスタ。今年の出演者はファットボーイ・スリム（イギリス）、ポール・ヴァン・ダイク（ドイツ）、タイニー・テンパー（イギリス）ほか。ラインナップの詳細は www.mellenevents.com で。
料金：＄116.20 ～＄401.20
チケット：Ticketmaster

■ Soundwave 2012
３月５日（月）午前 11 時
Claremont Showgrounds：Graylands Rd, Claremont
毎年主要都市で開かれるオーストラリア最大規模のロックミュージックフェスタ。システム・オブ・ア・ダウン、スリップノット、リンプ・ビズキット、マリリン・マンソンなど、今年は今まで以上に豪華なラインナップ。詳細は www.soundwavefestival.com で。
料金：＄167.80
チケット：Ticketek

■ Jessie J
３月５日（月）午後７時
Challenge Stadium：100 Stephenson Ave, Mt Claremont
イングランド出身のシンガーソングライター、ジェシー・J。デビューアルバム「フー・ユー・アー」に収録されて大ヒットした「プライス・タグ」「ノーバディーズ・パーフェクト」「ドゥ・イット・ライク・ア・デュード」などを歌い上げる。
料金：＄79.90
チケット：Ticketmaster

シアター

■ Ruby Moon
２月３日（金）～ 11 日（土）午後８時（４日、５日、11 日は午後２時もあり）
Spare Parts Puppet Theatre：1 Short St, Fremantle
最後まで展開が予測不可能な推理劇「ルビー・ムーン」。行方不明になった娘ルビーが大事にしていた人形の腕がある日両親の郵便受けに届き、あきらめかけていた両親は捜索を再開する。
料金：一般＄33、コンセッション＄29、学生＄27、子供（１～ 16 歳）＄24.50
チケット：BOCS

■ Falsettos
２月３日（金）～ 18 日（土）午後８時（５日は午後５時、12 日は午後２時）
Old Mill Theatre：Mill Point Rd, South Perth
人間関係の微妙さと難しさを描くミュージカル「ファルセットス」。主人公マーヴィンは妻と息子がありながらゲイであることに目覚め、離婚して同性の恋人と暮らし始めるが…。
料金：一般＄25、コンセッション＄20
チケット：(08) 9367-8719、または oldmilltheatre@iinet.net.au

■ Elektra
２月８日（水）、11 日（土）、14 日（火）午後７時 30 分
His Majesty's Theatre：825 Hay St, Perth
ホーフマンスタール台本、リヒャルト・シュトラウス作曲のオペラ「エレクトラ」。狂信的な愛と復讐を題材にしたギリシャ悲劇が基になっている。膨大な管弦楽を駆使したスケールの大きい音楽が観客を圧倒する。
料金：一般＄42.50 ～＄154.50、コンセッション・学生・子供（３～ 15 歳）＄37.50 ～＄134.50
チケット：BOCS

■ When We Are Married
２月９日（木）～ 25 日（土）午後８時
Limelight Theatre：Civic Dr, Wanneroo
1908 年のイギリスを舞台にしたコメディー劇。25 回目の結婚記念日を迎えた３組の夫婦が、実は正式に結婚していなかったことに気づき、突如シングルライフを味わうことになる。
料金：一般＄19、コンセッション＄16
チケット：www.limelighttheatre.com

■ The Winter's Tale
２月 17 日（金）～ 25 日（土）午後７時 30 分（21 日と 25 日は午後１時 30 分）
His Majesty's Theatre：825 Hay St, Perth
シェイクスピア作のロマンス劇「冬物語」。シチリア王リオンティーズは、ボヘミア王ポリクシニーズと妻の仲を疑い、激しい嫉妬に駆られる。リオンティーズは妻子と親友を失うが、16 年の時を経て奇跡的な再会と和解を果たす。
料金：＄37.50 ～＄67
チケット：BOCS

■ Henry V
２月 18 日（土）～ 25 日（土）午後７時 30 分（19 日と 23 日は午後１時 30 分）
His Majesty's Theatre：825 Hay St, Perth
イングランド王ヘンリー五世の生涯を描いたシェイクスピア作の史劇。ヘンリー五世率いるイングランド軍は領土継承権を主張してフランスに攻め入り、アジャンクールの戦いで大勝する。
料金：＄37.50 ～＄67
チケット：BOCS

■ Raoul
２月 18 日（土）～ 26 日（日）午後７時
Regal Theatre：474 Hay St, Subiaco
チャーリー・チャップリンの孫、ジェイムズ・ティエレによる幻想的でシュルレアリスティックな舞台。ラウルという自分の世界に閉じこもった男の内面を、言葉を使わずにアクロバティックな動きやイリュージョンなどで表現する。
料金：＄25 ～＄74
チケット：Ticketek

スポーツ

■ Cricket：Commonwealth Bank One Day International
２月８日（水）＆ 10 日（金）午後 12 時 20 分
WACA：Nelson Cres, East Perth
オーストラリア、スリランカ、インドの３カ国で行われるクリケットの国際試合。８日にインドとスリランカ、10 日にオーストラリアとスリランカが対戦。
料金：＄11 ～＄96
チケット：Ticketmaster

■ Rottnest Channel Swim
２月 25 日（土）
Cottesloe Beach：Marine Parade, Cottesloe
コテスロービーチからロットネスト島のトムソン・ベイまでの 19.7km を競う遠泳大会。２人、４人組でのチーム参加、またはソロの参加もあり。
www.rottnestchannelswim.com.au

フェスティバル

■ Kids Festival
２月５日（日）午前 10 時～午後３時
Jackadder Reserve, Blackbutt Rd, Woodlands
スターリング市が企画した子供のためのイベント。アドベンチャー・ステージショーやカーニバルの乗り物、アート・アクティビティーなど、家族で楽しめるエンターテインメントがいっぱい。入場無料。
www.stirling.wa.gov.au

その他

■ Jo Frost：Be The Best Parent You Can Be Tour
２月 21 日（火）午後７時 30 分
Burswood Dome：Great Eastern Hwy, Burswood
テレビの育児リアリティー番組でおなじみのスーパーナニー、ジョー・フロストの講演。長年の経験をもとに、乳児から思春期までの子育てを楽しくするための実践的ノウハウを披露する。
料金：＄65 ～＄135
チケット：Ticketek

■ Sculpture Walk 2012
２月 25 日（土）～３月 11 日（日）
Wireless Hill Park, Telefunken Dr, Ardross
メルヴィル市が毎年開催している野外彫刻展。今年は Applecross Wireless Station 開設 100 周年記念行事の一つとして行われ、約 15 人のアーティストたちが歴史あるその土地から感じたイメージをさまざまな形で表現する。ピクニックがてら出かけてみては。www.melvillecity.com.au/community/art/city-of-melville-sculpture-walk

BOCS
Tel:（08）9484 1133/1800 193 300
www.bocsticketing.com.au

Moshtix
Tel: 1300 438 849
www.moshtix.com.au

Ticketmaster
Tel:136 100
www.ticketmaster.com.au

TICKETEK
Tel：132 849
www.ticketek.com.au

パース市内の主なチケット・アウトレット
＜ BOCS ＞
Perth Concert Hall：5 St.George's Terrace
His Majesty's Theatre：825 Hay Street
＜ Ticketmaster ＞
Cloisters Newsagency：863 Hay Street
＜ TICKETEK ＞
Pharmacity：717 Hay Street Mall

※イベント開催日時、会場、料金等は予告なしに変更されることがありますので、ご確認の上お出かけください。
※チケットには別途手数料が適用される場合があります。

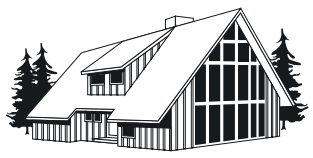
SBS ラジオ日本語放送
（パース 96.9FM）
毎週火曜　午後 10 時～ 11 時

ビジネスクラシファイド

不動産 REAL ESTATES

ALTITUDE real estate
不動産のことならアルティチュードへ
Suite 6/8 Alvan St. SUBIACO, WA 6008
豊富な経験を生かし、安心して暮らせる『住み心地の良い家』をご紹介致します。皆様に喜んでいただけるよう専心努力を致します。携帯：**0417-273-739**
担当：細川貢司　koji@altitudere.com.au
www.estatequest.com.au　（日本語）

Rich & Co.
西田　洋
350 Walcott Street, MT LAWLEY, WA 6050
☎ (08) 9276-7092（自宅）/ **0413-354-878**
nhiroshi1005@hotmail.com　パース在 32 年。住宅売買、借家のご相談承ります。迅速、誠実、経験豊富。お気軽にどうぞ



食料・日用品・レストラン FOOD・DAILY・RESTAURANT

LOI'S (Lion Oriental Foods Co.)
ロイズ（ライオンオリエンタルフーズ）
13 Fitzgerald Street, NORTHBRIDGE
☎ (08) 9228-9898　Fax (08) 9228-8669
日本食品はパース最大の品揃えスーパー。毎土曜日は日本の食料品とお酒を $10 以上お買い上げで 10％引き。セール品も要チェック。日本のビール、酒、焼酎、梅酒も西豪州最大の品揃え。駐車場完備。

LOI'S Eastern Supermart
ロイズ イースタン スーパーマート
125 Barrack St. PERTH /☎ (08) 9221-1001
シティ中心。日本食品の品揃え豊富。セール品多数。是非お立寄り下さい。

REGENT CAKES
リージェント・ケーキ
10/45 Francis Street, NORTHBRIDGE, WA
☎ (08) 9227-8081
元有名ホテル勤務のケーキ職人が腕を振るう店。人気のアンパンは、早めに買うことをお勧め。　水曜定休

車・モーターバイク CAR・MORTORCYCLES

NORTHBRIDGE ENGINE FIT & AUTO SERVICE
ノースブリッジ エンジン フィット オート サービス
402 Newcastle St. NORTHBRIDGE, WA 6003
☎ 0422-237-728　日本語 ／ (08) 9328-9198
経験豊富なメカニックがお客様の大事なお車を丁寧確実に定期点検＆一般修理メンテナンス致します。安心してお任せ下さい。牽引車有。日本人経営。ゆかまで

美容・健康 BEAUTY・HEALTH

AI HAIRDRESSING
日本人美容師
☎ 0487-399-043 / mei20040816@yahoo.co.jp
日本の材料でのパーマ；ストレート；カラー；ウェディングヘアメイク。
出張可能（費用別）カットカラー $80~
お気軽にお電話下さい。

Hair Salon SUZUKI　（千恵美）
ヘアサロン　鈴木　（旧美季美容室）
2 Carob Court, O'CONNOR, WA 6163
☎ 0429-493-739 / chiemipoh@yahoo.co.jp
日本の TV 番組や映画を見ながらヘアカット。ご予約は e-mail 又は SMS で。料金表送ります。休み：2 月 16 日～ 26 日

LET'S RELAX MASSAGE in Perth
レッツ・リラックス・マッサージ
125 Barrack St. PERTH, Loi's Supermart 上階
☎ (08) 9221-1001 ストレスにはボディ、指圧、リフレクソロジー等マッサージを。経験豊富な日本人セラピスト常駐。飛入歓迎。$40/30 分、$70/60 分。年中無休。

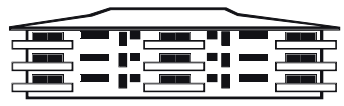
Pelvis Body Make Exercise　AKKO
骨盤ネジ締めボディメイクエクササイズ
☎ 0417-546-872/akkocchan@hotmail.com
ゆがんだ骨盤を正しい位置に導き、体をバランスよく整えます。加齢や出産によってゆるんだ骨盤底筋を引き締め、尿漏れ・肩こりの改善にも効果あり。

RYOKO for Hair
出張ヘアデザイン
☎ 0423-937-192 / ryoko4hair@yahoo.co.jp
パーマ、カラー、ヘナ、ウェディングヘアメイク。カット $35 ～。ご予約はお早めに！　営業時間：平日 9 時半～ 3 時
予約状況は　http://ryoko4hair.client.jp/

Satomi Hair on Wheels
サトミ・出張ヘアーサービス
☎ 0415-200-119 / (08) 9227-6629
ヘアーカット、パーマ（＋デジタルパーマ、ストレート）、カラー（＋ヘナ）
日本の材料を使用しております。
お気軽に御利用下さい。

宿泊施設 ACCOMMODATION

BILLABONG Backpackers Resort
ビラボン・バックパッカーズ・リゾート
381 Beaufort Street, HIGHGATE, 6003
☎ (08) 9328-7720　Fax (08) 9328-7721
四ツ星保持。清潔で市内やノースブリッジ近。朝食、出迎え、卓球、プール、バレーコート等全て無料。2007 年西豪州ベストバックパッカー受賞。2008 ～ 10 年は 3 年連続ファイナリスト受賞。1 泊 $25 ～



◀JA NEWSを確実にお手元へ。◀◀◀◀

定期発送のお申し込み受付中！

JA NEWS最新号の定期発送をご希望の方は
以下までご連絡ください。

■ **発送料金**　(毎号 1 部発送)

オーストラリア国内	オーストラリア国外
6か月　$12.00	$30.00
12か月　$24.00	$60.00

消費税込

国内は毎号 1 部につき
$2.00とお手頃です。

JA NEWS (The Japan Australia News)
TEL : 1300 551 246
info@janews.com.au

NAATI オーストラリア通訳・翻訳国家認定資格　Japanese ◁ ▷ English

有資格者だから安心

Translation
翻訳
移住関係申請資料 (出生届、戸籍謄・抄本等）や各種証明書、免許証等の公式書類、ビジネス文書、履歴書、カタログ、メニュー、名刺など、正確さと質に重点を置いたサービスを提供します。

Interpreting
通訳
ビジネス、医療、観光、買い物など様々な状況で、経験豊富で質の高い通訳者が、円滑なコミュニケーションのお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせください。
GoForward Australia-Japan Pty Ltd
PO Box 403 Osborne Park WA 6017 Australia
Tel : 1300 551 246　Fax : (+61 8) 9207 2523　E-mail : info@janews.com.au
☆お見積もりは文書のスキャンファイルをメール添付でお送りください。

Business Classifieds
ビジネスクラシファイド　ご利用案内

ビジネス名を除く 5 行（和文 1 行 18 語）で 1 号＄33.25 ～。
追加 1 行ごとに＄6.00。
特別料金：太字（1 行）、ロゴ挿入　各＄10.00 追加
料金は全て GST 込み
Excluding business names, from $33.25 per issue for five lines.
Extra lines arise $ 6.00 per line.
Extra Charges: emphasis (per line) bold type, logo $10.00 each.
Translation : $25 per five lines.
Advance payment only. (Prices incl. GST)

料金

1 issue	$ 39.00
3 issues	$ 112.00
6 issues	$ 215.00
12 issues	$ 399.00

お問い合わせ
JA NEWS
TEL: 1300 551 246
info@janews.com.au

ビジネスカード
デザイン・印刷
design printing

●250 枚 / 片面 / フルカラー印刷
$140.00 (inc. GST)～
●250 枚 / 両面 / フルカラー印刷
$175.00 (inc. GST)～

アートワークはご相談ください。
ご注文･お問い合わせ
GoForward Australia-Japan Pty Ltd (JA NEWS)
TEL: 1300 551 246　FAX: (08) 9207 2523
info@janews.com.au

主要機関連絡先 Yellow Pages

政府関連機関

■ 西豪州政府観光局／ W.A. Visitor Centre
55 William St, Perth W.A. 6000
☎ 1300 361 351

■ 移民・市民権局／ The Department of Immigration and Citizenship
836 Wellington Street, West Perth
☎ 13 18 81

■ 税務署／ Australian Taxation Office
45 Francis St., Northbridge W.A. 6003
☎ 13 28 61

■ 社会福祉法人「サポートネット 虹の会」
☎ 0403-530 928

■ 兵庫文化交流センター
Hyogo Prefectural Government Cultural Centre
☎ (08) 9385 9002

■ パース日本人学校
The Japanese School in Perth ☎ (08) 9285 1758
www.japaneseschool.wa.edu.au

■ ジェトロ・シドニー・センター
JETRO Sydney ☎ (02) 9276 0100

日本関連機関

■ 在豪日本国大使館／ Embassy of Japan, Canberra
☎ (02) 6273 3244 www.au.emb-japan.go.jp

■ 在パース日本国総領事館
The Consulate-General of Japan in W.A.
U22 / Level 2, 111 Colin St
West Perth ☎ (08) 9480 1800
www.perth.au.emb-japan.go.jp

■（法）西豪州日本人会
Japanese Association of W.A. (Inc.)
パース日本商工会議所
Japan Chamber of Commerce and Industry in Perth Inc.
☎ (08) 9285 1765
jccip@iinet.net.au

■（法）西豪州日本クラブ
Japan Club of W.A. Inc.
Mr. Toshitake Hirose
☎ (08) 9245 4760 / 0451 058 988

■（法）豪日協会
Australia - Japan Society (W.A.) Inc.
☎ (08) 9365 7137

その他

■ 緊急電話／ Emergency Calls 000
① Fire (消防)、Police (警察)、Ambulance (救急)
② 住所と状況を伝える

■ ガス／ Gas 13 13 52

■ 水道／ Water 13 13 75

■ 電気／ Electricity 13 13 51

■ 番号案内／ Directory Assistance
豪州国内 12 23
海外 12 25

■ 電話の故障／ Telephone Faults
一般家庭用 13 22 03
業務用 13 29 99
携帯電話 018 018 111
回線不良（国内） 11 00
（国際） 12 21

■ タクシー／ Taxis
スワン 13 13 30
ブラック＆ホワイト 13 10 08

JA NEWS 2012 年 3 月号は、3 月 1 日 (木) 発行の予定です。

JA ニュース 読者文芸欄

短歌

陽炎（かげろう）から口笛ひゅらり流れきてひゅらりひゅうらり野をわたりゆく

旅人はなごり惜しむらしモーテルのベッドに一つオレンジ置かる

旅人は去ってしまいぬ静かなる海に小石一つを投げて

旅人の吹く口笛はさびしげに風に寄り添い海渡りゆく

なぜと問う幼じゃないけど問いたくなる酔いて乱れる若き者らよ

俳句

のどもとを音立て流（なが）るビールかな

（ニッキー西）

読者文芸欄では短歌・俳句・川柳を募集しています。氏名（ペンネームの場合は本名も）、連絡先を明記の上、郵送／ファックス／Eメールで編集部までお送り下さい。

JA NEWS
The Japan Australia News

編集長 Chief Editor 高橋 隆幸 Takayuki TAKAHASHI
翻訳 Translator スティックランド リヨーニ・レイ Leonie Rae STICKLAND
ニック・ジョン Nick JOHN
編集顧問 Editorial Adviser 徳島 和内 Kazuchi TOKUSHIMA

● 発行所 Published by

GoForward Australia-Japan Pty Ltd
PO Box 403 Osborne Park
WA 6017 Australia
TEL :1300 551 246
FAX : (+61 8) 9207 2523
info@janews.com.au
www.janews.com.au

お こと わり

弊社では、本紙掲載記事の正確さに万全を期しておりますが、掲載後にデータや情報が変更になる場合もございますのでご了承ください。また、広告、社外寄稿者の記事に関しては、必ずしも社の見解を反映した内容ではないことをお断りいたします。

なお、掲載記事、写真、図版の無断転載を禁じます。

掲載の広告内容は連邦公正取引法（1974 年）または著作権法（1987 年）、西オーストラリア州商品販売法（1895 年）または公正取引法（1987 年）、およびこれらの法律に類似する法律の規定に違反するものではないことを条件にしていますが、広告の内容や信憑性に関しての責任は負いかねますのでご了承ください。

The articles that the Japan Australia News prints are correct at the time of printing but please note that there is a possibility that information may change after printing. In regard to advertisements and articles written by contributors outside of the Japan Australia News, the opinions expressed do not necessarily reflect the opinions of the Japan Australia News. Reproduction without permission of any article, photograph or illustration printed in the Japan Australia News is strictly prohibited.

It is a condition of advertising in the Japan Australia News that the advertisement does not breach the Commonwealth Trade Practices Act (1974) or Copyright Act (1968), or the Western Australian Sale of Goods Act (1895) or Fair Trading Act (1987). However, please note that the Japan Australia News does not guarantee the absence of breaches or the reliability of advertisements, nor does it accept responsibility for such breaches.

JA NEWS 主要配布スポット

■ **Albany**
Albany Public Library
■ **Applecross**
Ohnamiya
■ **Bassendean**
Suisen
■ **Bunbury**
International College of English
Kokoro Japanese Restaurant
■ **Beaconsfield**
Challenger TAFE
■ **Bentley**
Curtin University (Japanese Department)
Curtin University (ELICOS)
POLYTECHNIC WEST
■ **City Beach**
Hyogo Cultural Centre
Japanese School in Perth
The Weekend Japanese School
■ **Claremont**
Methodist Ladies College
Sado Restaurant
■ **Crawley**
University of Western Australia (Asian Studies)
■ **East Perth**
Chanterelle at Jessica's
Hyatt Hotel
Perth Ambassador Hotel
■ **East Victoria Park**
Senoji Japanese Restaurant
Restaurant Ninniku Jip
■ **Fremantle**
Fremantle Library
Fremantle Tourist Information
Oceans Restaurant
Taka's Kitchen
■ **Innaloo**
Sasuke Take Away Food
■ **Joondalup**
Joondalup Library
■ **Leederville**
LUNA Cinema
■ **Mandurah**
Mandurah Library
■ **Morley**
Sushi - Don
■ **Mt Lawley**
YUZU KAITEN SUSHI
ZAKKA BOX
■ **Murdoch**
Murdoch University (Japanese Department)
■ **Myaree**
Hanaro Mart
Perth Kimchi
Yee Seng Oriental Supermarket
■ **Nedlands**
Kido Restaurant
Kongs Oriental Store
Sunazuka Perth Holistic Acupuncture
■ **Northbridge**
Arigataya
Central TAFE
Lion Oriental Foods
MC Beauty
OOPS! JAPAN
Regent Cakes
■ **Perth**
Billabong Backpackers Resort
Blue Tourist & Student Centre
hair plus
H.I.S.
Jaws Mint Restaurant
Loi's
Macs Link
Maruyu
Matsuri Restaurant
Milner English College
Nao Japanese Restaurant
Nichigo Centre
Nihongo Iryou Centre
Rainbow Lodge
Restaurant Jun
Roselle Hair Lounge
TAKA'S Kitchen
WA Tourist Centre
Zensaki Restaurant
■ **Rockingham**
Regional Campus Community Library
■ **Shelly**
Kahmon Restaurant
■ **Subiaco**
Brilliant Hair
Green Tea House
Nippon Food Supplies
Moisteane
Tenkadori
Toraya Restaurant
Zen Restaurant
■ **Victoria Park**
Japanese Cafe Ulara
Inter Continental Perth Burswood
■ **Vines**
The Vines Resort & Country Club
■ **Welshpool**
Meijin Garage
■ **West Perth**
Consulate-General of Japan
■ **Whitford**
Kobe Sushi
■ **Winthrop**
City Travel Centre
Sakura Japanese Foods
■ **Yokine**
Aoi Japan

（順不同）

※毎月末日発行を予定しておりますが、配送の都合により多少遅れる場合もあります。各所配布部数には限りがあります。確実に入手なさりたい方は定期発送お申し込みをお勧めします（P 17 参照）。

クラシファイド 申し込み用紙
Classified Application Form

■申し込み＆期日 この用紙に必要事項をご記入の上、 **毎月20日** までに掲載料金とともに下記申し込み先まで郵送、もしくは直接ご持参下さい（料金が不明瞭な場合はお問い合わせ下さい。用紙不足の場合は別用紙を添付して下さい）。
電話によるお申し込みはご遠慮いただいております。

■支払い 料金はすべて前払いです。期日までに「GoForward Australia-Japan Pty Ltd」宛の銀行小切手または郵便局のマネーオーダーあるいは現金でお支払い下さい。

※差別禁止法により、性別、年齢、国籍を限定した広告文は掲載できません。
※入金確認後の掲載となり、一度お申し込みいただいた場合、返金は致しかねます。
※内容に関しましては、それぞれの連絡先までお問い合わせ下さい。
※料金はGST（消費税）を含みます。

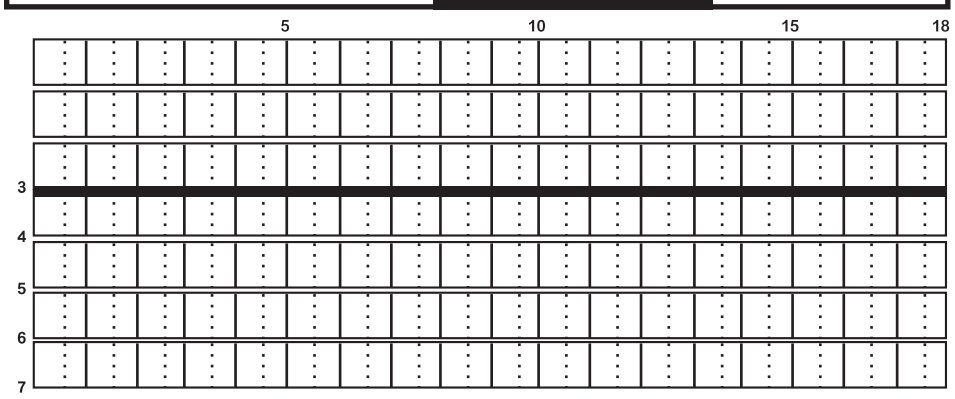
- Please fill in the form and send it with your payment by cheque or money order to the address below, to arrive by 20th of the month prior to publication.
- We cannot accept applications by telephone, and advertisements must be prepaid.
- No refund can be made if applicant withdraws the advertisement before publication.
- Please note that the Equal Opportunity Law forbids the publication of advertisements directed at one sex only.
- No correspondence will be entered into regarding the contents of classified advertisements.
- Prices include GST.

クラシファイド申し込み先 Send classified advertisements to :
classifieds@janews.com.au
JA NEWS PO Box 403 Osborne Park WA 6017 Australia

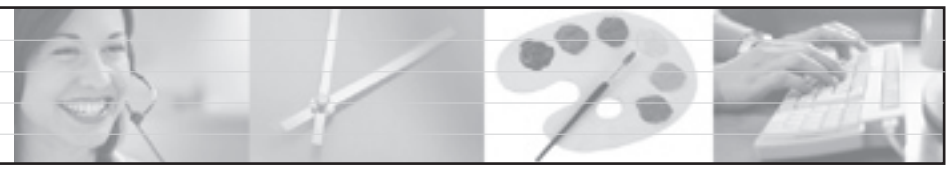
氏名 (Name)	掲載月 (Month for publication)
住所 (Address)	☎ (Tel.)

料金 和文：3 行（1 行：日本語 18文字、半角英字 36文字）$21.00。追加 1 行につき $5.00。太字、枠組み、ロゴ 1 行、1 点につき $5.00。シェア募集の内容に関してはメールでお申し込みいただき、校正を必要としない場合は、無料にて掲載致します（3 行×18文字まで）。
Cost English : $21.00 for first 3 lines (36 letters per line), Japanese : $21.00 for first 3 lines (18 letters per line). $5.00 each additional line. Extra Charges : bold type, frame, logo : $5.00 each Translation fee : $21.00 per 3 lines. Classified for share house (by E-mail only) : Free up to 3 lines without proof confirmation.

合計金額 (Total cost) $	オフィス用 (Office use only)



CLASSIFIEDS クラシファイド



求　人

スタッフ募集！

３か月から６か月間フルタイムで働ける
ホールスタッフ及びキッチンハンド。
パートタイムも常時募集しています。
祭レストラン　☎（08）9322-7737
松島、吉田まで☎　0411-881-715

****

シェフ（和食経験者）、キッチンハンド、
フロア担当を求めています。お気軽に。
SADO ISLAND RESTAURANT
Claremont ☎ 0417-988-064 野村まで

****

キッチンハンド募集！長期働ける方、永住者優遇。Innaloo の Bunnings 向かい。
Sasuke Japanese Takeaway ☎ 9445-7831

****

ランチタイム・スタッフ募集
（月～金、朝～昼すぎ）
☎ 044-880-3332 わさび (Woodside)

****

直ジャパニーズレストラン

117 Murray St. Perth
キッチンスタッフ募集
ワーキングホリデーの方は、長期（6 か月）働ける方、しっかりした調理経験のある方。永住者は未経験も考慮します。
電話連絡の上、履歴書をお持ちください。
担当：たかよ　電話：9325-2090

元気なスタッフ募集。
Yokine の Dogswamp Shopping Centre 内
和食テイクアウェー「Aoi Japan」。
ワーホリ、学生、長期（３か月以上）働ける方大歓迎。永住者優遇。☎ 9242-1995。
電話連絡の後、詳細、面談。

売ります

【家売ります】４ベッドルーム、２バスルーム、全室エアコン。日本庭園、和風ゲート有り。45 Milroy St Willagee
http://www.oneresidential.net.au/

****

ビジネス（お寿司バー）売ります。
場所は Fremantle の E-shed market food court。安定的な収入保証、安いレント代、金土日オープン 。
お問い合わせ：☎ 0401-974-553
お店の規模に比べ収益率が高いです。

教えます

ENGLISH LESSONS 英会話クラス
37 Barrack Street, PERTH
☎ 0407-426-628　スピーキングとヒアリング中心で少人数制クラス。教師は皆、経験豊かなネイティブ。90 分＄20。
特殊コース（発音、IELTS、FCE、家庭訪問レッスン）可能。無料体験レッスン実施。

貸します

日本人オーナーの一軒家。家具付。賃料はご相談に応じます。連絡先：Reginald Dawson　☎（08）9409-4534

その他

月～土無料英会話２時間と聖書 30 分
www.freeenglishclasses.org City クラス
パース日本語キリスト教会　冠婚葬祭も
日曜集会午後 1:00 ～　どなたでもどうぞ
☎ 0413-243-065 ／ 9448-8755　ヤング迄

****

ＴＯＹＯＫＯ’Ｓ　Hair in Carlisle
☎ 0448-610-963　tadatoyo@gmail.com
カット、カラー、パーマ、縮毛矯正、ヘアーセット、着付けなど、出張も可能なのでお気軽にお問合せ下さい。

****

パースのパソコン相談所＊日本語で対応
http://perth-pc.com/　TEL 0430-115-911
電話、メールでお問い合わせください。

****

世界にたった一つのハンドバッグや犬の洋服を製作します。詳細は下記サイトにて。 http://cm-inutomo.com

****

オーストラリア・シドニー発

JENTA SYDNEY
TEL : 02-9909-0111　FAX : 02-9909-0888
info@wjenta.com
www.wjenta.com

NSW 州　求人
＜ JENTA Sydney より＞

デリバリ及び加工スタッフ募集中
Botany にある食品加工工場 (Thanks Foods) では、配達のデリバリ・スタッフ及び工場内で作業をする加工スタッフを募集しています。時間は平日 7 :00~16:00 まで。英語に自信がない方でも安心して働ける職場です。未経験の方でも大丈夫ですので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。ご連絡お待ちしております。
電話 (02) 9316-5833/5855、またはメールで info@thanksfoods.com.au 佐藤まで。

****

歯科助手募集
経験のある歯科助手募集中。学生・永住ビザの方ご連絡下さい。☎ 02-9252-5888

****

美容師募集
CITY、チャイナタウンにある Japanese Hairsalon Takeshi & Team では、美容師を募集しています。スタッフは全員フレンドリーで、楽しいサロンですので仲間になりませんか？　是非、ご連絡下さい。
E-mail: hairsalontakeshi@yahoo.co.jp
住　所 : City mark level1 shop F1A, 683-689 George St
担当 : 塩崎 まで / ☎ 0431 769 521

ヘアスタイリスト募集
国際的な美容師を目指しているヘアスタイリストさん募集‼　ローカルのお店で働きたいと思っている方、まずはうちのお店で世界に通用するスタイリストを一緒に目指しませんか？　英語で対応出来る方、長期働ける方優遇。パートタイムだけでも結構です。経験者のみ。
☎ 02 9904 3336 担当 Takumi

****

東京ステーキハウス
キッチンハンド、ホールスタッフ急募！
シドニー南部、La Perouse のビーチフロントにオープンしたレストラン「東京ステーキハウス」で、キッチンハンド & ホールスタッフを募集中。永住、ワーホリ、学生ビザをお持ちでやる気のある方、ご連絡をお待ちしています。調理経験者、週 6 日働ける方、コミュニケーションがとれる程度の英語力があればなお歓迎！　まかない有り。市内から直通バス有り。お気軽にお問い合わせください。
Noriko(日本語可) ☎ 0421 662 575 まで。

****

ニュートラルベイ Kai Sydney
レストランスタッフ大募集
Kai Sydney レストランではキッチン、ホールスタッフを大募集しています。一緒に楽しいお店を作りましょう。☎ 0437 272 401
Mail: kakinuma@iinet.net.au かきぬままで

****

Sushi-YA Chatswood スタッフ募集
キッチンハンド・ホールスタッフ・寿司シェフ長期で働ける方。フルタイム・パートタイム、未経験でも OK!　時間帯など相談します。賄い・ドリンク・チップ付き。お気軽に連絡下さい。
☎ 0430 720 523 中村まで。

****

KURAKURA Japanese Casual Dining
スタッフ募集
先月オープンした KURAKURA Japanese Casual Dining ではスタッフを募集しています。場所は City、チャイナタウン。募集職種は下記のとおりです。
☆キッチンスタッフ
（キッチンハンド、シェフ）
☆ホールリーダー経験者
☆レストランマネージャー経験者
ビジネスビザサポートあります。
新しくお店を創り上げて頂ける元気あるスタッフをお待ちしています！　興味のある方是非ご連絡ください。
住所 :76 Ultimo Rd. Haymarket (China Town)
TEL : 0422-938-968
担当者 : とさ

日本語医療センター

パース 日本語フリーダイヤル
1800-777-313
携帯電話からの通話は有料となります。

日本人患者様専用の受付、診察室があり、安心して診察を受けることができます。

■ 海外旅行傷害保険キャッシュレスサービス ■

海外旅行保険加入者は、医療費（専門医を含む）及び 通訳、薬品、レントゲン、血液検査等の費用は支払い不要です。

- 日本人通訳者が常勤しておりますので、言葉の心配は全くありません。
- 看護師、女性医師がおります。
- 薬局に出向かなくても、その場で薬を受け取れます（日本語説明付き）。
- 全科（歯科を除く）の診療が可能です。
- 保険に加入していない方でも低料金で診察を受けられます。通訳付きも可
- 混雑を避けるため予約制となっておりますが、緊急時は常時対応します。
- ダイビングメディカルもできます。

予約受付・診察時間
月～金　午前８時～午後５時
土　午前10時～午後３時

診療項目
・内科　・外科　・整形外科　・耳鼻咽喉科　・小児科　・眼科　・産婦人科　・泌尿器科（性行為感染症含む）　・皮膚科　・アレルギー科　・心療内科　・精神科など

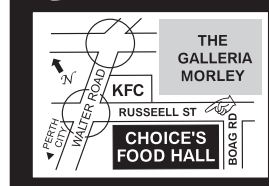
Level 1 713 Hay Street Perth WA 6000　TEL: (08) 9486 4733　FAX: (08) 9321 4778

OOPS! JAPAN
MANGA & ANIME STORE
～おもしろき事もなき世をおもしろく～
インターネットも大切だけど活字はもっと大切！
迷わず行けよ行けばわかるさ～
日本の
マンガやアニメ
映画のDVDなどが多数！
ソフトドリンク１本無料
コーヒー・紅茶などが飲み放題
ゆったりソファ
深夜まで営業！
マッサージチェア
二段ベット
フリーWiFi
無料掲示板あり！
HAPPY HOUR
10:30am～2:30pm（4時間）=$10
日本のモノも売ってます。
（パーティーグッズ、雑貨、お菓子、カップラーメン、マンガ、小説、雑誌）
◆カードはご利用いただけません◆
住所：3/98 Lake St, Northbridge 6003 WA
（ブルーキャット11番バス停から歩いて５分。噴水の前）
営業時間：10:30am～深夜　定休日：第１・第３火曜日
電話番号：08 9227 0484
Eメール：oopsjapan234@gmail.com
ウェブサイト：www5.hp-ez.com/hp/oopsjapan

あなたがもし何かを目撃したなら
勇気を出して
通報してください
1800 333 000
www.crimestoppers.com.au
あなたの名前を言う必要はありません
匿名で結構です

JA NEWS The Japan Australia News
JA NEWS は CRIME STOPPERS をサポートしています。

すしどん



火曜日定休
スタッフ募集
☎ (08) 9375-9992
Cnr.Walter Road & Russell Street, MORLEY

Watch Japan Now

December 27, 2011

Saving Electricity in Winter and Warm-biz

Saving Electricity in Winter

Because of the nuclear accident at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant (NPP) of the Tokyo Electric Power Company (TEPCO) that resulted from the Great East Japan Disaster, the number of NPPs that are out of commercial operation is increasing. On November 1, the government decided, based on such data as a demand-supply outlook for this winter, to ask electricity users within the jurisdiction of the Kansai Electric Power Co., Inc. (KEPCO) to reduce use of electricity by more than 10% this winter compared with last year, and those within the Kyushu Electric Power Co., Inc. by more than 5%. The government did not set numerical targets for the users within the jurisdictions of electricity utilities in Hokkaido, Tohoku, Tokyo, Chubu, Hokuriku, Chugoku and Shikoku regions, but requested them to save electricity provided that they did not trouble for people's everyday life or economic activities.

Before the nuclear accident occurred, 54 domestic commercial nuclear reactors were fulfilling about 30% of Japan's electricity demand. As the Kyushu Electric Power Co. began to stop the operation of the Genkai NPP No.4 for routine maintenance, the number of NPPs in operation is now six, including the Tomari NPP No.3 of Hokkaido Electric Power Co. and the Shimane NPP No. 2 of Chugoku Electric Power Co. The Electricity Business Act mandates routine maintenance of an NPP every 13 months of its operation. This requires checking about 130 items, for example, whether major facilities would function normally. This routine maintenance usually finishes within two or three months. After the Fukushima nuclear accident, however, the number of NPPs that were stopped and cannot get back to commercial operation after the maintenance started is increasing, because since the Fukushima accident each utility has to meet some extra conditions including a government safety assessment and the go-ahead from the local people before resuming operation.

In KEPCO's jurisdiction, whose dependence on NPPs is more than 50%, only the Takahama NPP No. 3 is in operation out of the 11 that KEPCO possesses. As the NPP will undergo routine maintenance on and after February 20, 2012, it is very likely that no NPPs of KEPCO will be in operation. KEPCO announced its outlook on short supply in January, February and March 2012 as 5.4%, 8.0% and 6.1% respectively. Therefore, it is anticipated that the winter electricity demand will be the severest in KEPCO's jurisdiction. In response to a request from the government, KEPCO started a "winter electricity saving period" from December 19, 2011, till March 23, 2012, aimed at companies and households in its jurisdiction. Users are requested to save more than 10% compared with last winter between 9 a.m. and 9 p.m. on weekdays, except during the Year End and New Year holidays.

When the Genkai NPP No. 4, the only one in operation in the jurisdiction of Kyushu Electric, was stopped on December 25, the utility planned to raise its electricity supply with the help of other utilities. It has, however, judged that the 5% redundant electricity rate, which is regarded as necessary for a stable electricity supply when the demand is highest, will be lowered to 1% or less in January, in particular, and that it has to request its users to save more than 5% compared with last year. The request covers the period between December 26, 2011 and February 3, 2012, from 8 a.m. till 9 p.m. weekdays except the Year End and New Year holidays.

Households are the key to successful electricity saving in winter

The electricity industry has a common awareness that saving electricity in winter is more difficult than in summer. In summer, electricity use comes to a peak after 2 p.m., but in winter, there is heating demand from early morning to midnight, and peaks come during rush hours in the morning and the evening. Households account for about one third of electricity demand in winter, larger than about one fourth in summer, so further efforts for saving electricity are needed. The Agency for Natural Resources and Energy estimates that in the evening (around 7 p.m.) in winter, households consume about 30% of electricity for air-conditioners when they use them, and then 13% for lighting. In such a situation, as heating devices free of the influence of the electricity situation, kerosene stoves and similar devices have been selling well since October this year. The Japan Industrial Association of Gas and Kerosene Appliances, comprising mainly gas or kerosene equipment makers, estimated that 1,480,000 kerosene stoves will be sold in FY2011, 13% up over FY2010. According to the Association, in August this year, 187,000 kerosene stoves, about 12 times as many as the same month of the last year, and in September, 462,000, more than three times the same month of the last year, were sold.

This winter, people are relying more on Japan's traditional wisdom: *yuzu* (a citrus fruit) or ginger baths. When they are floated in a bath-tub, the mandarin oranges or *yuzu*, or ginger, give out a fragrance that simulates the skin and promotes blood circulation, it is said. Also attracting attention includes warming up by eating seasonal foods, root crops or ginger, or by having breakfast, and *nabe* dishes (a Japanese style hot pot), which also raise room and body temperature. Ginger, in particular, is in the news as drinks, cup soups, and candies made from ginger are on the market.

WARM BIZ

As part of measures against global warming, the Ministry of the Environment has, since FY2005, been campaigning for "WARM BIZ," namely more comfortable, warmer but still stylish business clothes even when the room temperature is set at 20 degrees C, getting back to the basic concept, "Wear more clothes when it is cold and don't depend on the heating system." The ministry set a period between November 1, 2011, and March 31, 2012, for this fiscal year's "WARM BIZ" period, introducing concrete examples of clothing, food and living styles which can be used in offices or households.

As part of the "WARM BIZ" campaign, an "ECO de OFFICE" executive committee was established in October 2011 with the support of the Ministry of Economy, Trade and Industry and also with the special cooperation of the Ministry of Environment. The "ECO de OFFICE" promotion campaign has been conducted mainly by nationwide department stores, in tandem with various organizations and industries including those of clothing, bedding and department stores. There are various kinds of goods that keep you comfortable without depending on excessive heating: legwear such as tights and legwarmers that use heat generating or heat-keeping materials, lap blankets using materials that are adjustable to comfortable temperature or that are heat generating, tiny portable gel warmers that can be put on or around waist or abdomen, nice and soft functional undergarments, etc.

On December 24, 2011, the Cabinet Office announced the results of the "Public Survey on Citizens' Living Conditions (survey period: October 13 – November 6, 2011; Respondents: 10,000 male and female adults nationwide; collection rate: 62.1%). To the question, "What did you become more aware of after the great quake?" (multiple answers possible), 59% (the highest) said they tried to save electricity. In other surveys, many people replied, "I will save electricity even in winter. Saving electricity is necessary." In the first winter after the Great East Japan Earthquake, efforts to save electricity are going on in offices and households.

January 10, 2012

Birth of the "Osaka Metropolis"? Japan's Local Government System Challenged

The double elections for Osaka governor and Osaka mayor in November 2011 ended in landslide victories for Ichiro Matsui and former prefectural governor Toru Hashimoto, who had pledged to radically change the existing government system of the second largest city in Japan after Tokyo and set up an "Osaka metropolis." Moves to reorganize the existing local government system to improve administrative efficiency and revitalize local communities are taking place across the country.

* * * * *

Osaka Prefecture has two government ordinance-designated cities, Osaka City and Sakai City, in its jurisdiction. Under the law, a big city which meets certain conditions can be classified as a "government ordinance-designated city," and some of the prefectural powers are transferred to it so that the city can pursue its original policies in a wide range of fields such as urban planning. A criticism has been made, however, that the ambiguous role division between a prefecture and an ordinance-designated city has brought about an "overlapping administration" problem.

The double elections in Osaka were carried out by Mr. Hashimoto to solve the problem, when he resigned as governor of Osaka before completing his term of office. According to his camp, Osaka Prefecture and the two government ordinance-designated cities are handling such policies as urban development and infrastructure building separately, causing administrative inefficiency and stagnation. The camp pledged in the campaign to dismantle the prefecture and the two cities (Osaka and Sakai), reorganizing them into an "Osaka Metropolis," which would handle broad-area administration in an integrated fashion, and some basic local government units ("special autonomous wards") responsible for immediate services for local citizens. By making the "Osaka Metropolis" the only unit responsible for urban and industrial infrastructure development and other policies, the camp argued, Osaka's economic competitive edge will improve and "Japan will be led by two engines, Tokyo Metropolis in the East and Osaka Metropolis in the West."

After the landslide victories of Mr. Hashimoto and his colleague, the "Prefecture-City Unification Headquarters" has already been inaugurated. There are still significant hurdles to overcome before the "Osaka Metropolis" comes into being, such as the revision of the local government law in the Diet, but public attention is focusing on future development if Japan's traditional framework of the local government system since the Meiji Era is able to change.

You can find similar moves to change an existing local government system across the country. One type focuses on eliminating "overlapping administration" between a prefecture and an ordinance-designated city, just like the case of Osaka. For example, in central Japan, Aichi Prefecture and Nagoya City have a plan to merge into a "Chukyo (Central Capital) Metropolis" whose GDP within the region will amount to 40 trillion yen, and "pave the way for the region to compete globally as a representative of Japan." Bordering the Sea of Japan, Niigata Prefecture and Niigata city are planning to merge to form a "Niigata *Shu*" to improve the efficiency of administrative management and also to strengthen the powers of local municipalities across the prefecture.

Another kind of move aims to realize a "*doshu-sei*," or a wider regional government system, by reorganizing the existing 47 prefectures into a few wider regions, and drastically transfer the authority and revenue sources of the central government to those new units ("*do*" and "*shu*" in Japanese). It aims to change the relations between national and local governments, and the central government itself is already considering introducing this system. In this regard, Kumamoto Prefecture has already revealed a plan for Kumamoto to become the capital of a new unit "Kyushu," by saying that the role division between Kumamoto and Fukuoka, the biggest cities in the region, will be hopefully like that between Washington and New York in the US.

The election results in Osaka are expected to have a big influence on these discussions over the introduction of a new local government system and the role of the central government.

(Copyright 2012 Foreign Press Center/Japan)

お知らせ

リレーインタビュー「夢を追いかけてオーストラリア」は都合により休載させていただきます。

第 77 便

ティーガンの こんなことあってん!!

ティーガン・チャブ

ほとんどのオーストラリア人と同じように、私もたまにはバリ島で休暇を過ごすのが好き。「海外のオーストラリア」といわれるほどオージーたちに人気があり、そしてオージーのお客さんの好みで食事や遊びがオーストラリアと同じようなのだけれど、バリ島の旅行にはオーストラリア国内では経験できないことも多い。最近は行っていないけど、バリ島の楽しい思い出がたくさんある。

▲ お姉ちゃんとピカピカ光る鯉を楽しんでいる　Enjoying the beautiful koi fish with my sister

この前の「ウェスト・オーストラリアン」紙に、パースからロットネスト島への観光客が減って島の観光局がショックを受けているという記事が載っていた。その一方で、パースからバリ島への旅行者は５倍増えたらしい。新聞には「驚くべきこと」「理解できない」と書いてあったけど、そんなに分かりにくいことではないと思う。１週間ぐらいの休暇旅行なら費用はどっちでもほぼ同じだから、どこがどう違うのか考えてみよう。バリ島ではリゾートのプールで安いビールを飲みながら海の景色を楽しんだり、いろんなお店が立ち並ぶ通りで飽きるまでショッピングしたり、いつでも好きな時に食べたいものを食べたり、そして予約なしでビューティー・トリートメントを格安で受けたりできる。ロットネスト島だと、お天気が良ければ自転車で強い風が吹く島を回ったり、パブが開いてればビールを飲んだり、ランチにソーセージ・ロールかなんかを食べたり、すごくきれいで完璧な海辺でリラックスしたりできる。週末旅行や１週間の休暇でサイクリングやシュノーケリングを楽しんだり、友達か家族とのんびり過ごすのにロットネストは最高だけれど、バリ島と比べたら静かで、サービスの点でちょっと物足りないかな。

ここで、何年も前のバリ島での出来事を伝えたい。すごくシンプルな出来事だったけど、何年も後の今思い出しても、思わず笑顔になる。

ホテルのレストランで朝食を取っていたら、すぐ近くの庭に大きな池があって、そこに鯉（こい）がたくさんいた。すごく可愛（かわい）い、朝日に輝くピカピカの鯉たちにすっかり魅せられて、朝食の後、池のそばに座って眺めていた。すると後ろから「今、餌をやる時間だけど、やりたい？」というホテルスタッフの声が聞こえてきた。やりたい！！　私は鯉が大好きだからスタッフから餌をもらって、大喜びで魚たちにやっていた。すると他のスタッフたちも私が喜んでいるのを見て笑顔になって、そのうちの何人かが「写真を撮ってあげようか？」と声をかけてくれた。小さいことかもしれないけど、その旅行のとってもいい思い出になった。

この出来事の一番素晴らしいと思ったところは、このホテルのスタッフたちにとって、お客さんからの笑顔に価値があったということ。私が楽しんだことを、スタッフも楽しんだ。もちろんスタッフたちにはこのようなことは毎日の仕事で別に楽しくはないかもしれないけど、他の人を楽しませることで自分たちも楽しめる。この経験だけじゃなくてバリ島では何回も、仕事上必要だからではなくただ観光客を笑顔にさせるために、何かをしてあげる人たちを見た。お金とは関係ないし、そしてあまりにも自然でさりげなくて、こんなふうに他の人を楽しませることはバリ島の文化の一部なのかなと思った。

人を楽しませることが文化の一部になっているとしたら、本当に素敵だね。もちろん他の国にもそういう文化があるのは確かだけど、私自身が最もそれを経験したのがバリ島。それでちょっと考えたんだけど、オーストラリアではどうしてこれをしないのかな？　大人たちはよく一緒に遊んで子供を楽しませようとするし、これはみんな好きなんだ。しかし知らない人を楽しませようとする人はあまりいない。してあげる人にもしてもらう人にも、すごく楽しいことなのに！

もしかして、親切のつもりで何かすると、かえって相手に嫌な思いをさせてしまうんじゃないかと心配する人が多いのかな。一つの国の中にいくつもの文化が入り交じっている今の社会では、気をつけないと思わぬ失敗をする。私も、少しだけ文化が違うアメリカ人と仕事をしていた時に勘違いされてしまったことがある（これを読んで気を悪くしたアメリカ人がいたらごめんなさい）。だから他の人に何かしてあげる時、みんなすごく気を使うんだね。でも、もっと他の人の文化も分かったらいいね。

それでも、楽しい思いをさせてくださったバリの人たちには本当に感謝。また遊びに行きたい！　また行ける時まで、自分の生活の中でできるだけ周りの人たちを楽しませるようにしよう。

ティーガン・チャブ
2005 年から 2 年間、JET プログラムの CIR（国際交流員）として大阪市国際交流課に勤務。西オーストラリア州パース在住。

Tegan's "Nandeyanen" in Perth Part 77 Tegan Chubb

Like many Aussies, I'm quite partial to taking a relaxing holiday in Bali from time to time. Although dubbed by some as an "overseas Australia", there is a lot to be said for a holiday in Bali, including many things which are simply not available in Australia. Although I haven't been for a little while now, I do have many fond memories of fun times I have had in Bali.

While the Rottnest Tourist Board appears shocked in a recent article in the West Australian newspaper that visitors to the island off the coast of Perth are flagging, while those flying for a holiday in Bali have increased five-fold, I don't see this as particularly difficult to understand. Considering that a holiday to Rottnest and one to Bali are going to essentially cost the same amount, let's weigh up the differences. While I can enjoy a beer in the warm pool overlooking the ocean from my resort in Bali before a shopping trip with many various of shops to enjoy, unquenchable choices of food at any time of the day that I like, then topping off the day with a massage or beauty treatment available without an appointment and at a very reasonable price, alternatively on Rottnest I can cycle around the wind-swept island, visit the pub and perhaps buy a sausage roll for lunch to enjoy on one of the admittedly extremely beautiful beaches. Of course Rottnest is beautiful and definitely worth a trip for a good weekend or week of sunbathing, snorkeling and fun, I guess it is perhaps just lacking when it comes to personalised service.

Which leads me to what I wanted to bring up. One particularly pleasant experience in Bali stands out in my mind years after it happened, and can still bring a smile to my face…

When having breakfast in the hotel restaurant one morning, I noticed a large pond in the garden nearby, fully of koi fish. Falling in love with the beautiful koi sparkling in the sunlight, after eating I went to gaze by the side of the pool to gaze at them. Suddenly a voice called from behind me "It's time for their feeding, would you like to do it?" Of course!! I love koi and so took some food from the hotel staff and happily sat feeding the fish. While doing so I noticed other staff see how happy this made me, who also started to smile. A few even came past and offered to take photos. It was such a small thin, but meant so much to me. This is one of my favourite memories of this trip.

The thing that strikes me is simply that the Balinese staff at this hotel seemed to simply really enjoy getting a smile from their guests. Of course this is something that is an everyday occurrence for them, so they can't get such enjoyment out of it themselves, but can still enjoy the look of enjoyment of another. Not simply this experience, but this just demonstrates one of the many times that a Balinese person went out of their way unexpectedly to do something that they felt I would get enjoyment from. They were so good at this, it made me wonder whether this is simply an intrinsic part of their culture.

What a beautiful part of a peoples' culture it is, to enjoy the act of providing enjoyment to others. Of course it is probably a part of many cultures around the world, but I haven't experienced it anywhere more than in Bali. But it got me to thinking about why we don't seem to indulge in this more in Australia? You will often see adults providing pleasure to children which of course tends to make us all smile, but how often do we see strangers go out of their way to do something enjoyable for someone else? No doubt it brings as much joy to the giver as the receiver.

Perhaps we are simply too conscious these days of the potential to do something offensive unknowingly. In an increasingly multi-cultural world this is a real danger. I know personally I have come across this when working with Americans who do have a tendency to take offense a lot more readily than Australians (apologies to any Americans who may take offense at this). So it is understandable if people feel the need to back off. Still, it would be better if we could all simply learn more about each others' cultures.

However, I really did appreciate the random moments of enjoyment provided to me by my Balinese hosts, and hope to enjoy their hospitality again soon. In the meantime perhaps I can try to practice giving others joy more often in my own life.

I'm inviting comment from readers of JA NEWS to let me know directly what you think. You can contact me on teganjanews@gmail.com. I look forward to hearing from you!

A Bird's-Eye View of Japan

No. 69 R.I.P. the eternal maverick, Danshi Tatekawa!

［A regular feature by **Teru GAMO** English adaption by Leonie Stickland］

It was in November last year that Danshi Tatekawa, a master of the Japanese comic storytelling genre called *rakugo*, crossed the River Styx.

His unprecedented ways of speaking and behaving have become topical again, and there is a flurry of voices lamenting the loss of his intellectual approach to his art.

I am not a particular fan of *rakugo*, but in my youth, I made the acquaintance of a bunch of junior *rakugo* performers at cheap drinking-places in Shinjuku, and socialised with them for a time.

Inspired by repeated attendance at *rakugo* performances, I compiled a book on one of their artistic sidelines, *zappai* (a kind of playful literature based on the humorous or vulgar poetic dialogue called *haikai*). All of them had achieved professional standing as *rakugo* storytellers, but continued to receive training from teachers in a variety of arts, which included Japanese classical dance, *shamisen* (a stringed musical instrument), and classical epic singing (*nagauta*). One of these arts was *zappai*, assorted humorous poetry whose enjoyment lay in its repartee and wit. There were two disciples of Danshi in the group with an interest in this. One of these was Sadanji Tatekawa, while the other initially took the stage name of Danshō Tatekawa, later changing it to Baō Reireisha when he made the sideways shift to another master, Bafū Reireisha, after Danshi broke away from the mainstream Rakugo Association.

Sadanji, nicknamed Sada-yan, was a devotee of new works, winning popularity from aficionados from his young days, but he seemed to drink too much, and his heroic sagas are still a talking-point. Baō, on the other hand, preferred classic *rakugo* in admiration of the late master, Shinchō Kokontei, and he was the type to notice everything. His abrasive companions poked fun of him, saying that he would be better suited to being a manager than a professional storyteller. The group encompassed a galaxy of talent, such as the very epitome of kimono-clad style, Umaji Kingentei (later to change his first name to Bashō), a resident of Ginza (formerly named Kobiki-chō), in addition to Kumosuke Gokaidō, a devotee of authentic classical *rakugo* who carried weight from the beginning, and others. The way that Umaji reeled in his buckwheat noodles was artistic.

It was around 1980 that I attended Danshō's wedding reception. The go-between (who officiates on such an occasion) was his then master, Danshi. His outfit was reminiscent of an Arabian prince, he had been drinking from the start, and his speech was incoherent, as well.

Though it is a little-known fact, Danshi once counted a blonde-haired, blue-eyed disciple among his students. This individual, of mixed Japanese and American ethnic background, was forced to change the first part of his professional name 16 times, from Washington Tatekawa, at the beginning of his discipleship, to Reagan, Levchenko, Fulham-Road and suchlike, and was finally expelled, poor man!

An entertainer who was a genius with encyclopedic knowledge and an excellent memory

Though Danshi was a maverick who was always doing things his own way, what was especially noteworthy was his copywriter-like ability to come up with a catchy riposte. When asked, for example: 'Have you grown [artistically] over the past 15 years?' he replied: 'I had the time, so it would be very dull if I hadn't grown.' In answer to the question: 'Did you experience any setbacks?' he said: 'Setbacks occur because people have expectations [of success]. If you think you cannot do something, then there is no way you will be disappointed.' These are nonchalant phrases, but they sparkle, all the more because they are answers to unforeseeable questions.

The granddaddy of them all was his definition of *rakugo* as 'the affirmation of human karma.' This approaches the philosophical.

Master Danshi hated defeat to a rare degree. During his own discipleship, he was overtaken by Shinchō Kokontei, who had started his training under the same master five years later than Danshi, with Shinchō being promoted to the status of *shin'uchi* (star performer). And when Danshi realised that his master Kosan Yanagiya V's successor was going to be Sanji Yanagiya (now Kosanji), he revived an obsolete professional name from the Meiji era, assuming the title of Danshi Tatekawa V, and became a star performer on his own initiative. I have heard from the lips of Kosan himself, backstage at the prestigious Japanese-style vaudeville theatre, Shinjuku Suehiro-tei, that he was dumbfounded at Danshi's action.

Setting that aside and returning to the crux of the matter, the art of storytelling that is *rakugo,* there are all sorts of opinions about it, and people's likes and dislikes are clearly divided.

Being tentatively of the classical school, Danshi would also perform major story material based on contemporary life in old Edo, such as 'Bunshichi (pronounced "Bunhichi" in Edo) mottoi (a cord for tying the hair),' or 'Kōya Takao (about a dye-worker lovesick for a courtesan).' (Available on YouTube: http://www.youtube.com/watch?v=DOinUWDyNj8, http://www.youtube.com/watch?v=QmSHzz1zq5c&feature=related, http://www.youtube.com/watch?v=B2zyjiDeZ9Y&feature=related)

I felt, however, that storytellers such as the aforementioned Shinchō, or Koasa Shunpūtei were better, having more charm and sex appeal.

Still, feeling that it would be rude of me to comment without hearing much of Danshi's performances, I borrowed a CD of his afresh and had a listen. One of the titles was the everyday-life story, 'Shibahama (Shiba Beach),' and another the bright and cheerful 'Oyama mairi,' about a pilgrimage to holy Mt Oyama, not far from Tokyo. The first one is not bad, either, but I was struck with admiration at the endlessly sunny verbal presentation of the second one.

I was now convinced that Danshi was the real thing, after all, a splendid storyteller. People who say they do not like him much perhaps will feel repelled by his attitude of disparaging his audience somewhat, or his sermon-like way of speaking. But when he performs flawlessly, it becomes the art of a genius.

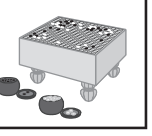
I will conclude with an anecdote that made me smile unwittingly with satisfaction. On the avenue called Denbōin-dōri in Asakusa, there is truly unostentatious tempura restaurant called Tentake. There is an unusually large number of tempura places in Asakusa, comprising a variety of establishments: famous restaurants patronised by groups of customers who arrive by sightseeing bus, places with a sophisticated look that are frequented by gastronomes, eating-houses with a reputation for delicious *ten-don* (bowls of rice topped with tempura prawns) where there is always a queue waiting for entry, and so on. Avoiding such places, I occasionally visited Tentake, only recently discovering there a large piece of decorative cardboard bearing Danshi's calligraphy, saying: 'The definition of tempura is what you eat at this kind of restaurant!' That put Master Danshi into my good books.

Columnist and freelance writer Teru GAMO has published 16 books in such varied genres as politics, comparative culture, history and travel. He currently contributes a culture and current affairs column to a daily newspaper, Chiba Nippo.

連載

時評 傍目八目（おかめはちもく）ニッポン

コラムニスト 蒲生 輝



第69回 永遠のガキ大将 談志師匠逝く！

　立川談志師匠が彼岸に渡った。昨年、霜月のことだった。

　破天荒な言動が改めて話題になり、あの知的な芸風を惜しむ声が渦巻く。

　筆者は、とりたてての落語ファンというわけではないが、若い時分、新宿の安飲み屋で若手の噺家（はなしか）連と知り合い、しばし付き合った。

　落語会通いから始まり、彼らの余芸（よげい）のひとつである雑俳（ざっぱい）に関して、書籍を編んだ。皆、二ツ目であった彼らは、落語以外に、いろんな習い事をしていた。日舞、三味線、長唄などをお師匠さんについて稽古する。そのうちの一つが雑俳で、これは機知・ウィットを楽しむ雑多な俳諧。これを嗜（たしな）むグループに談志師匠のお弟子さんが二人いた。一人は、立川左談次（さだんじ）で、他は談志師匠が落語協会をおん出た後に、鈴々舎馬風（れいれいしゃばふう）師匠の下に横滑りした元立川談生（だんしょう）の鈴々舎馬桜（ばおう）。

　サダやんこと左談次さんは新作派で、若いころからツウに人気があったが、お酒が過ぎるようで、その武勇伝は今も語り草に。馬桜さんは、志ん朝師匠を敬愛する古典派で、何事にもよく気づくタイプ。口さがない仲間は、噺家よりマネージャー向きと茶化す。ほかに、後に馬生（ばしょう）を襲名した銀座（旧木挽町［こびきちょう］）の住人で、粋が着物を羽織ったような金原亭馬治（きんげんていうまじ）、本格古典派で当時から重みのあった五街道雲助ら多士済々。馬治さんの蕎麦（そば）のたぐり方は芸術的だった。

　あれは昭和50年代半ば、談生さんの結婚披露宴に列席した。仲人は当然、談志師匠。その出（い）で立ちたるや、アラビアの王様風、のっけから酒が入っており、挨拶（あいさつ）も文脈が通らない。

　あまり知られていないが、談志門下には金髪で青い目の弟子がいた。入門時はワシントン。その後レーガン、レフチェンコ、フルハムロードなど16回も改名させられ、最後は破門という気の毒な日米ハーフの落語家だった。

博覧強記の天才芸人

　まあ、すべてに無手勝流で暴れん坊だが、特筆すべきはコピーライター的な才能。一例「ここ15年で成長があったか?」という質問に「歳月があって、成長がなきゃつまんないナ」と。また「挫折を経験したか?」という質問には「挫折ってのは、期待するから起こる。できないと思ってりゃ挫折しようがない」。さりげないフレーズだが、キラリと光る。予測できない質問の答えだけに、なおさらだ。

　極めつけは「落語とは人間の業（ごう）の肯定」。ここまでいくと、哲学っぽくなってくる。

　さて談志師匠は稀代（きだい）の負けず嫌い。入門が5年後輩の古今亭志ん朝に真打昇進で先を越され、師匠の小さんの後釜がさん治（現小三治）と悟ると、埋もれていた明治時代の名跡・立川談志を引っ張り出してきて襲名し真打に。師匠もこれには口あんぐりだったと、小さん師匠に新宿末広亭の楽屋で伺ったことがある。

　それはさておき肝心の話芸、落語だが、これに関してはさまざまな意見があり、また好悪もはっきりしている。

　一応、古典派ということで、「文七元結」（ぶんひちもっとい）とか「紺屋高尾」（こうやたかお）といった世話物の大ネタも高座にかける。しかしこういうのは、前述の志ん朝師匠とか、春風亭小朝（しゅんぷうていこあさ）といった人たちの方が、艶っぽく色気があって良い気がしていた。

　しかし、あまり聞かずに物を言うのも失礼と、改めて談志師匠のCDを借りて聞いてみた。一題は世話物の「芝浜」、もう一題は明るく陽気な「大山詣り（おおやままいり）」。前者も悪くないが、私は後者の底抜けの明るい口演（こうえん）に感心してしまった。

　やはり談志師匠は本物だ、素晴らしい噺家なんだ、と納得した。あまり好きではないという人は、あのちょいと客を見下げたような態度、説教的な話し方に嫌悪感を持ってしまうのかもしれない。しかし天衣無縫に演じると、天才肌の芸となる。

　最後に、思わずニンマリした話。浅草・伝法院通りに、誠に地味な天ぷら屋「天健（てんたけ）」がある。

　浅草にはことのほか天ぷら屋さんが多く、観光バスで団体客が入る有名店、ツウが通う粋な店構えの店、天丼が美味（おい）しいというので常に行列ができる店などさまざま。

　そんな店を避け、時々通っていたが最近、談志師匠の色紙発見。「天ぷらってえのは、こういう店で喰（く）うもんだ!」。談志師匠が好きになった。

プロフィール
蒲生輝（がもう・てる）
１９４４年長野県生まれ。コラムニスト、フリーランス・ライター。政治、比較文化、歴史、旅行などのジャンルで、これまでに16冊の著書がある。現在、千葉日報に文化時評コラムを連載中。

虹の会 社会福祉法人 サポートネット 虹の会
http://www.nijinokai.com.au
西豪州政府の認可団体です（非営利、非宗教、非政治）
ケア・サポート　一人暮らしの高齢者が病気になった時の入院前・退院後の介助と見守りや、ベビーシッター（お母さんが急遽入院などの緊急時）まで、幅広いサポート内容です。
プレイグループの支援　歌や遊びを通して、子どもたちに日本の文化を伝えるお手伝いをしています。
電話相談　生活・医療情報の提供、子育て相談、外国暮らしの中で困ったこと、その他、さまざまな悩み事の解決策をご一緒に考えます。
サンデーマーケットのお知らせ
虹の会は東日本大震災から１年となる今年３月11日（日）にサンデーマーケットに出店し、売り上げおよび募金を義捐金として被災地へ送ります。
場所：カリンナップショッピングセンター（200 Karrinyup Rd Karrinyup WA 6018）
日時：３月11日（日）午前６時30分～午前11時30分
不要になった物品の寄贈をお受けしています。（連絡先は下記のとおり）
どんなことでも電話相談を…お気軽に
問い合わせ info@nijinokai.com.au
＜秘密厳守＞
電話がかからない時は番号、曜日を変えておかけ直し下さい
電話番号
0403 530 928 代表
0403 530 927 事務局
0403 530 925 ケアチーム（介護の相談・要請）

News Photos from JAPAN

❶ TOTTORI
White starfish at Tottori aquarium

A rare white starfish is displayed at Tottori Karo Crab Aquarium in Tottori, western Japan, on Jan. 5, 2012. It was discovered on the coast in the town of Daisen in Tottori Prefecture in November 2011.

❷ SAPPORO
Indigenous Ainu launch party

Shiro Kayano (2nd from L), leader of the Ainu Party of Japan, speaks during a meeting in Ebetsu, Hokkaido, on Jan. 21, 2012, as members of the Ainu indigenous group, who primarily reside in Hokkaido, launch the party, aiming to field 10 candidates in the House of Councillors election in 2013.

❸ KOFU
Pencil with sculpted tip

Photo taken Jan. 17, 2012, in Kofu, Yamanashi Prefecture, in central Japan, shows a pencil with its graphite tip sculptured into the word "gokaku," meaning passing the exam or selection process. Toshiyuki Yamazaki, a local pencil sculptor, creates and sells the pencil for 8,000 yen (about $104) as a gift for students taking entrance exams or going for job interviews.

❹ KYOTO
Archery competition at Kyoto temple

Women in traditional attire celebrating their coming of age this year take part in an archery competition at Sanjusangendo temple in Kyoto, western Japan, on Jan. 15, 2012. Around 2,000 people from across the country, including the new adults, took part in the event.

Source : Kyodo News

JA NEWS
The Japan Australia News

KYODO NEWS INTERNATIONAL 特約

FREE

Established July 1996 Monthly
Vol.16 No.187
Tel: 1300 551 246 Fax: (08) 9207 2523

February 2012

New Year in disaster area
OTSUCHI, Japan - Local residents climb stone steps of Otsuchi Inari Shrine in Otsuchi, Iwate Prefecture, for a New Year visit on Jan. 1, 2012. The town was devastated by the March 2011 tsunami. The torii gate of the shrine was rebuilt for New Year visits, a practice to pray for good fortune through the year.

Source: Kyodo News

INDEX

check it out! ..... P 12
Watch Japan Now..... P 20
Tegan's "Nandeyanen" in Perth ..... P 21
A Bird's-Eye View of Japan..... P 22
News Photos from JAPAN..... P 23

IN JAPAN
Red-hot topics from JAPAN
P12,13&14

歌川国芳
Kuniyoshi Utagawa

日本の大切なあの人へ。オーストラリアワイン

ビンバジェン・シャルドネ（白）
$22.00 750ml
産地：ハンターバレー

ビンバジェン・貴腐ワイン（白）
$30.00 375ml
産地：ハンターバレー
6本セット $173.00

サンダルフォード・エレメント シラズカベルネ（赤）
$26.00 750ml
産地：スワンバレー

セラボロ レッドアース・シャルドネ（白）
$20.00 750ml
産地：アデレードヒルズ

セラボロ スパークリングシラズ（赤発泡）
$31.00 750ml
産地：アデレードヒルズ

カレン・ソビニヨンブラン・セミヨン（白）
$65.00 750ml
産地：マーガレットリバー

タマリッジ クーンベンド・リースリング（白）
$28.00 750ml
産地：タスマニア

ビンバジェン・シラズカベルネ メルロ（赤）
$22.00 750ml
産地：ハンターバレー

ビンバジェン・スパークリング シラズ（赤）
$38.00 750ml
産地：ハンターバレー
6本セット $185.00

サンダルフォード・エレメント シャルドネ（白）
$26.00 750ml
産地：スワンバレー

セラボロ レッドアース・カベルネソビニヨン（赤）
$20.00 750ml
産地：アデレードヒルズ

セラボロ スパークリング（白発泡）
$25.00 750ml
産地：アデレードヒルズ

レシキ カベルネソビニヨン（赤）
$124.00 750ml
産地：クナワラ アデレード

ルームワイン シラズ（赤）
$24.00 750ml
産地：バロッサバレー クレアバレー

白6本セット $124.00
赤6本セット $124.00
白3本+赤3本セット $124.00

ビンバジェン・スパークリング（白）
$28.00 750ml
産地：ハンターバレー

サンダルフォード・エレメント レイトハーベスト(白)
$26.00 750ml
産地：スワンバレー

RXM メルロ(赤)
$34.00 500ml
産地：マーガレットリバー

赤発泡6本セット $173.00
白発泡6本セット $138.00
赤3本+白3本セット $160.00

マンゴーワイン
$28.00 375ml
産地：ケアンズ

ストロベリークリーム
$28.00 375ml
産地：メルボルン

お得なギフトパック（ワイン&お花）
$60.00
セラボロ(赤発泡)1本
プリザーブド・ワイルドフラワー
※ギフト用の箱入り

※送料：
お届け先1か所につき$188以上お買上げの場合は無料。
それ未満は1か所につき$10。

その他ワインも取り揃えています。

全商品カタログ、申込書を無料郵送します。
左記までお申し込み下さい。
www.janews.com.auでもダウンロード可能です。

日本国内宅配サービス 豪州ワイン | JA NEWS 電話 1300 551 246 | Fax : (08) 9207 2523 Email : info@janews.com.au